

GOVERNOR'S MONTHLY LETTER

To Rotary club presidents and secretaries



インスピレーションになるう

ガバナー月信 Vol.13

国際ロータリー第2840地区〈群馬〉2018-2019年度

臨時増刊号

国際ロータリー第2840地区 2018-2019年度

地区研修・協議会



国際ロータリー第2840地区運営方針 2018-2019
クラブを元気に、世界に奉仕を、
みんなで回そうロータリーの輪

「クラブ強化のために」
国際ロータリー第2800地区ハストカバナー
R1理事(2017,2019)

2019 06

宮内ガバナー事務所
群馬県前橋市問屋町2-2 前橋問屋センター会館1F
TEL 027-212-2840
FAX 027-212-2841

目次

ガバナーメッセージ	01
第1分区 ガバナー補佐 年間活動報告	02
第2分区 A ガバナー補佐 年間活動報告	03
第2分区 B ガバナー補佐 年間活動報告	05
第3分区 ガバナー補佐 年間活動報告	07
第4分区 A ガバナー補佐 年間活動報告	09
第4分区 B ガバナー補佐 年間活動報告	11
第5分区 ガバナー補佐 年間活動報告	13
第6分区 ガバナー補佐 年間活動報告	16
地区研修委員会・RLI推進委員会 年間活動報告	19
危機管理委員会 年間活動報告	20
審議会立法案検討委員会 年間活動報告	21
地区戦略計画委員会 年間活動報告	22
20周年記念式典・記念誌委員会 年間活動報告	22
ロータリー財団委員会 年間活動報告	23
資金推進委員会 年間活動報告	24
資金管理委員会 年間活動報告	25
ポリオプラス委員会 年間活動報告	26
補助金委員会(地区補助金委員会・グローバル補助金委員会) 年間活動報告	27
地区補助金委員会 年間活動報告	28
グローバル補助金委員会 年間活動報告	29
会員組織強化委員会 年間活動報告	30
女性ネットワーク委員会 年間活動報告	31
管理運営・IT委員会 年間活動報告	32
公共イメージ(わっつ・ルパルカ)委員会 年間活動報告	34
学友委員会 年間活動報告	35
職業奉仕委員会 年間活動報告	36

ガバナーメッセージ

国際ロータリー 第2840地区
2018-2019年度ガバナー
宮内 敦夫

ガバナー月信 6月臨時増刊号

6月30日でガバナーとしての小生の任期が終わりました。無事に年度を終えることができましたことは2840地区内の会員皆様の御理解とご指導、そしてご協力のお陰であります。心から感謝と御礼を申し上げます。

地区運営に当たっては、竹内研修リーダー・田中直前ガバナーをはじめとする諮問委員会のパストガバナー各位のご指導と激励をいただきました。ガバナー補佐各位には分区内クラブとのパイプ役を務めていただきました。各種委員会においては委員長を中心とした委員各位の熱心な委員会活動をして頂きました。小生所属の館林クラブをはじめとする第4分区のクラブの皆様、小暮幹事をはじめ副幹事の皆様、地区事務所の入山様、佐藤様、館林クラブの事務所の石川様には手厚いサポートをいただいて、諸事進めていただきました。衷心より御礼申し上げます。

年度末に当たり、ガバナー補佐・委員長各位には、年間活動報告書まとめ提出をいただきました。ここに、月信の増刊号を発行し、それを掲載いたします。

2018～19年度のバリー・ラシンRI会長のテーマは「インスピレーションになろう」Be the Inspirationでありました。それを受けて、私は「クラブを元気に、世界に奉仕を、みんなで回そうロータリーの輪」Energize our Clubs, and Serve the World, engaging Rotary with Society をスローガンに掲げました。具体的には、親睦を図り、元気で楽しいクラブを作り、次に、社会のニーズに応えた奉仕活動をし、社会と連携することで、会員基盤強化、ロータリーの公共イメージと認知度の向上に繋がるものと考えました。そして最終的に、ロータリー生活を通じて、われわれはロータリアンとしての人格形成ができると確信した次第です。その原点が「インスピレーションになろう」でありました。

今年度は、クラブの長期戦略計画(ビジョン)策定を各クラブにお願いしました。それに応えて、約7割のクラブが作って下さいました。残りのクラブは来年度策定予定されているようでありますので、森田年度にはすべてのクラブが長期戦略計画を持つことになることでしょう。報告いただいた分は森田年度に申し送ります。

社会奉仕委員会・国際奉仕委員会・職業奉仕委員会には、各クラブが今年度どのような活動をしたか調査してもらいました。8割方報告書の提出を頂きました。いずれ整理して報告いたします。

第1分区 ガバナー補佐 年間活動報告

第一分区ガバナー補佐 中島 博

1. クラブ訪問履歴

RC	第1回	第2回	第3回	第4回
前 橋	10月 2日	10月30日	2月19日	6月18日
前橋西	9月28日	10月12日	2月22日	6月21日
前橋東	10月11日	11月15日	2月14日	6月20日
前橋北	10月 1日	10月29日	2月18日	6月17日
前橋南	9月12日	10月10日	2月13日	6月12日
前橋中央	9月 5日	9月26日	2月20日	6月19日

2. クラブ訪問内容

- 第1回 あいさつ、ガバナー方針説明、ガバナー訪問事前訪問
- 第2回 ガバナー公式訪問
- 第3回 会員増強、IM、ロータリーデイについて
- 第4回

3. その他の活動

- 1) PETS、地区研修・協議会において分區別協議会開催
- 2) 前橋6クラブ親善ゴルフコンペ 赤城国際CC
- 3) 前橋学校フェスタ 11月16日 げんき21
- 4) 合同新年例会 1月28日 前橋商工会議所
- 5) IM 3月30日 奉仕についての研修会
- 6) ロータリーデイ 4月13日 前橋公園清掃
- 7) 会長・幹事会 6回
- 8) 周年行事 前橋中央RC、前橋西RC

4. 会員増強状況

	7月1日	6月1日	増減		7月1日	6月1日	増減
前 橋	124	118	-6	前橋北	71	79	+8
前橋西	58	62	+4	前橋南	44	43	-1
前橋東	51	51	0	前橋中央	26	26	0
				合 計	374	379	+5

第2分区A ガバナー補佐 年間活動報告

第2分区Aガバナー補佐 瀬谷 源 (桐生赤城RC)

第2分区Aでは合併という地区として初めての事であり、気に留めながら宮内ガバナー年度を始めさせて頂き、1年間活動を終え、出席率の向上とこれからロータリークラブの進展に努めていきたいと思っております。また、幹事クラブ(桐生西)のご協力を頂き、そして各クラブの皆様から暖かい友情とご協力に改めて感謝申し上げます。

1. クラブ訪問実績

RC	第1回	第2回	第3回	第4回	第5回	第6回
桐生	7月 2日	9月 3日	10月22日	2月 4日	4月 8日	
桐生南	7月 4日	10月17日	10月31日	2月 6日	4月10日	
桐生西	7月 6日	7月27日	10月12日	10月26日	2月 8日	4月12日
桐生赤城	7月 3日	7月17日	10月 2日	2月 5日	4月 9日	4月 9日

2. 第2分区A・IM 出席率向上の各クラブの取り組み

3月31日のIMでは4クラブの代表する方へお願いをして、参加者が100名を超え、様々な意見交換を行い、盛大に執り行われました。出席の必要性や各クラブの特長、考え方などを発表して頂き、今後の各クラブの為、出席率向上の努力を感じました。

3. 会員増強

※ () は女性会員

RC	7月1日	6月15日	純増減
桐生	61名(7名)	68名(11名)	+7名(+4名)
桐生南	35名(4名)	35名(4名)	0名(0名)
桐生西	63名(9名)	56名(8名)	-7名(-1名)
桐生赤城	42名(9名)	43名(9名)	+1名(+1名)

4. 桐生4RC会長幹事会出席

6月12日(前年度引継ぎ)	7月26日
9月10日	11月16日
1月15日	3月12日
5月30日(女子会)	6月4日(次年度へ引継ぎ)

5. 第2分区A 各クラブの状況

第2分区Aでは、9月28日合同クラブコンペ【双葉】合同例会【桐生プリオパレス】を開催し、4月20日4RC群大留学生交流会があり親睦を図りました。5月17日公共イメージUPロータリーデーとして各種団体(警察、交通役員、ロータリークラブ)が桐生マーケットシティヤオコーで、ビラ、ウェットティッシュ、その他、声掛けをしてお客様や車を運転している人々に配布しました。

その他各クラブの取り組みは未来の夢計画として取り組み、自クラブの継続をしっかりと行ってまいります。今後、第2分区Aでは出席率の向上に努めることが課題となっております。

6. 地区行事等の出席 第2分区Aの出席

開催日	行事内容
6月2日	ガバナー補佐会議
7月9日	管理運営セミナー
8月16日	青少年交流
8月18日	ロータリー財団セミナー
9月5日	森田ガバナーエレクト年度、会長エレクト、副幹事、ガバナー補佐会議
9月9日	地区ゴルフ参加【鳳凰】
9月22日	ガバナー補佐委員長合同会議
9月28日	桐生4RC合同ゴルフ【双葉】 合同例会【桐生プリオパレス】
9月29日	桐生RC(未来の夢計画セミナー)【桐生スカイホール】
9月30日	米山記念セミナー
10月6日	地区指導者セミナー
10月7日	地区大会
11月10日	ロータリー財団補助金セミナー
11月17日	イルミネーション取り付け(桐生赤城RC夢計画)【水沼駅】
12月26日	椅子の取り付け設置(桐生南RC夢計画)【桐生ヶ岡動物園】
1月26日	会員組織強化 女性ネットワーク合同会議
2月18日	ロータリーデー準備 4RC会長幹事ガバナー補佐
2月24日	子供食堂 未来の夢計画(子供食堂フーの皆様)
3月5日	未来の夢計画イルミネーション取り外し(桐生赤城RC)【水沼駅】
4月20日	4RC群大留学生交流会
5月17日	公共イメージUPロータリーデー【桐生マーケットシティヤオコー】
6月15日	宮内年度引継会

第2分区B ガバナー補佐 年間活動報告

第2分区Bガバナー補佐 原 邦昭 (群馬境RC)

1.クラブ訪問

クラブ	伊勢崎	群馬境	伊勢崎中央	伊勢崎南	伊勢崎東
1	7月25日	7月19日	7月26日	8月7日	8月16日
2	10月17日	9月13日	9月27日	10月2日	9月10日
3	10月24日	10月11日	10月18日	10月16日	10月15日
4	4月3日	4月4日	3月28日	3月19日	4月1日

*クラブ訪問内容

- 第1回 地区運営方針伝達
- 第2回 公式訪問事前準備
- 第3回 ガバナー公式訪問
- 第4回 IM開催協力の御礼・会員増強の現状と今後のお願い

2.会員増強

クラブ名	年度末	5月末	純増①	クラブ目標	達成度①②
伊勢崎RC	84	84	0	7	-7
群馬境RC	25	26	1	4	-3
伊勢崎中央RC	85	87	2	6	-4
伊勢崎南RC	30	33	3	7	-4
伊勢崎東RC	33	34	1	2	-1
合計	257	264	7	26	-19

3.第2分区B 会長幹事会

回	開催日	内容
1	8月30日	今年度の合同事業について他
2	10月25日	合同事業の打ち合わせ他
3	11月29日	IM打合せ他
4	2月28日	合同例会打合せ他
5	6月21日	現新会長幹事会



4.第2分区B行事

- ・ 2月3日(日) IM (伊勢崎プリオパレス)
- ・ 4月12日 (伊勢崎市境総合文化センター)
5RC合同事業ロータリー創立記念・公共イメージUP
「ウィリアムス浩子スペシャルJazzライブコンサート」
- ・ 5月22日(水)
5RC親睦ゴルフ大会 (赤城ゴルフ倶楽部)
5RC合同例会 (伊勢崎プリオパレス)

5.地区行事等の出席

2018

- ・ 5月13日 地区研修・協議会 (東洋大学)
- 16日 第2分区合同例会 (伊勢崎プリオパレス)
- ・ 6月3日 ガバナー補佐会議 (前橋問屋センター会館)
- ・ 8月18日 ロータリー財団セミナー (前橋問屋センター会館)
- 25日 女性ネットワーク委員会 (前橋問屋センター会館)
- ・ 9月22日 ガバナー補佐会議 (前橋商工会議所)
- ・ 10月6日 地区指導者育成セミナー (館林市文化会館)
- 7日 地区大会 (館林市文化会館)
- ・ 11月10日 ロータリー財団地区補助金管理セミナー
(前橋商工会議所)
- 26日 伊勢崎東RC25周年行事
- ・ 12月6日 分区女子会 (伊勢崎 あかね屋)

2019

- ・ 2月3日 IM (伊勢崎プリオパレス)
- ・ 4月12日 第2分区B合同事業 (伊勢崎市境総合文化センター)
- ・ 5月12日 地区研修・協議会 (伊勢崎市境総合文化センター)
- 22日 第2分区B合同例会 (伊勢崎プリオパレス)

第3分区 ガバナー補佐 年間活動報告

第3分区ガバナー補佐 橋爪 良真 (高崎セントラルRC)

一年間たいへんお世話になりました。

バリー・ラシンRI会長の「インスピレーションになろう」という刺激的なテーマと奉仕活動をつねに念頭に置きながらガバナー補佐を務めさせていただきました。

分区にとっては少し頼りないガバナー補佐であったかもしれませんが、私個人的には学ぶところの多い一年間でした。6クラブのまったく違う個性と方法をまざまざと観察させてもらい、若干視野が広がったような気がしますし、ロータリーの懐の深さをかいま見た思いでもあります。

以下ごく簡単に一年の活動報告をさせていただきます。

1、クラブ訪問

宮内ガバナー公式訪問のお伴を含め、高崎RCに6回、その他5RCには5回、訪問しました。基本的には四半期に一度、その時期の行事に合わせた内容で話しをさせていただきました。

2、会長・幹事会

2ヶ月に一度、6回開催されました。情報交換、クラブ訪問日程の調整、直近の行事の打合せ、そして懇親とほどよく機能していました。

3、分区行事等

所属の高崎セントラルRCが平成31年の年明けから、6RC合同新年会(1/22)、ロータリーデー&IM(2/23)、設立20周年(4/6)と、高崎最少人数のクラブながらホスト役が立て続き関口会長以下全員フル回転していただき、ご迷惑をおかけしました。

また高崎RCは3/26に創立65周年記念式典を挙行いたしました。

地区公共イメージ向上作戦としてロータリーデーでの集合写真をポスターにして、「公共イメージ向上週間」を定め(3/26~4/6)、会員各位の事業所などに掲示していただきました。



4、地区行事

ガバナー補佐会議、財団セミナー、地区補助金セミナー、米山セミナー、地区大会、ローターアクト年次大会、ライラ、女性フォーラムなどに参加しました。

5、会員増強

一時の勢いはありませんが、高崎RCが先頭を切って増強を推進してくださっています。

2019年6月14日現在の数字ですが、自主目標の合計は34名のところ18名の増強となっています。相変わらず、高崎北RCと高崎セントラルRCは女性会員0です。

()内は女性会員数

クラブ名	年初会員	純増	現会員数
高崎RC	130 (13)	10	140 (15)
高崎南RC	73 (8)	1	74 (9)
高崎北RC	72 (0)	0	72 (0)
高崎東RC	42 (3)	2	44 (3)
高崎ソフコ-RC	43 (3)	4	47 (5)
高崎セントラルRC	36 (0)	1	37 (0)
合 計	396 (27)	18	414 (32)

6、その他

新年度早々(7/23)、6RCの会長・幹事と共に就任の挨拶として、上毛新聞社高崎支社へ表敬訪問しました。

また10月には、水道事故で図書室の本がほぼ全滅した高崎市立東小学校へ、6RCのご協力を仰ぎ、百万円相当の図書を贈呈させていただきました。



第4分区A ガバナー補佐 年間活動報告

第4分区Aガバナー補佐 金谷 光明 (太田西)

第4分区Aの5クラブの皆様、一年間誠にありがとうございました。
メンバーの皆様そして事務局様の温かいご協力により、ガバナー補佐としての役職を全うすることができたと自負しております。

宮内ガバナーのメッセージ「クラブを元気に、世界に奉仕を、みんなで回そうロータリーの輪」と、地区目標10項目の内容を5クラブに発信し、内容を理解していただき、実践していただけたと思っております。各クラブのロータリー活動をより深く知ることもでき自身の向上にも役立った経験となりました。

1、クラブ訪問

	1	2	3	4	ガバナー公式訪問
太田RC	7月	10月	1月	5月	11月22日
太田西RC	7月	11月	1月	5月	11月14日
太田南RC	7月	11月	1月	5月	12月4日
新田RC	7月	9月	1月	5月	9月19日
太田中央RC	7月	11月	1月	5月	11月16日

2、会長・幹事会5回開催

各クラブの現況報告、地区目標の進捗状況、ロータリーデー、IM等の協議を行い終了後は、親睦会を実施し、クラブ間の連携を深めた。

3、会員増強

	2018年7月	2019年5月	増減	女性	地区目標5%以上
太田RC	73名	74名	+1	2	未達成
太田西RC	19名	18名	-1	2	未達成
太田南RC	47名	47名	0	3	未達成
新田RC	31名	24名	-7	2	未達成
太田中央RC	55名	53名	-2	3	未達成



4、ロータリーデー開催

5クラブ合同で1月～2月でタオルとカレンダーを収集し、太田市社会福祉協議会へ寄贈、上毛新聞に掲載された。

5、IMの開催

第4分区A・B合同 3月9日(土) 館林市ジョイハウスにて
テーマ「若い仲間を増やし、クラブを元気に」

6、第4分区A5クラブ合同親睦例会開催

2018年8月 2019年2月 2回

7、ガバナー補佐としての活動日数

地区主要行事

第4分区A各行事

第4分区A・B合同各行事・周年事業

2017年12月～2019年6月までの間、60日位

PS : 地区RLIセミナーにて、ディスカッションリーダーとして3回すべて参加

第4分区B ガバナー補佐 年間活動報告

第4分区Bガバナー補佐 土屋 孝夫 (館林西)

1. 各クラブ訪問

G公式訪問の同行も含めると5クラブ各6回の訪問を行いました。

	年度初訪問	事前訪問	G公式訪問	年頭訪問	会員増強	年度末訪問
館林RC	18/ 7/20	11/16	11/30	19/ 1/18	2/22	5/10
大泉RC	7/11	11/ 7	12/ 5	1/23	2/20	5/ 8
館林西RC	7/17	11/13	11/28	1/22	2/26	5/28
館林東RC	7/18	11/14	11/28	1/16	3/ 6	5/15
館林ミレアムRC	7/19	11/ 8	11/29	1/17	2/21	4/18

2. 分区内活動実績

IMや親睦ゴルフ大会の他に、『城沼の畔に陽光桜の植樹』、『多々良沼周遊道清掃』、『国道交差点に交通安全標語の看板設置』等の5クラブ合同事業が本年度活動の特長となりました。

- ① 第4分区A・B 合同 現新会長幹事会 18/ 6/ 6
- ② 第4分区B・5RC 合同 納涼例会 8/30
- ③ 第4分区B 第1回会長幹事会 9/25
- ④ 第4分区A・B 10RC 合同 秋季親睦ゴルフ大会(桃里) 10/25
- ⑤ 第4分区A・B 合同会長幹事会(IM開催準備) 11/17
- ⑥ 第4分区B・5RC合同 ガバナー公式訪問後懇親会 11/30
- ⑦ 第4分区B第2回会長幹事会(陽光桜植樹推進) 12/ 4
- ⑧ 第4分区B・5RC合同地区補助金事業
『城沼の畔に陽光桜の植樹』 19/ 3/ 2(G月信 vol10. p11)
- ⑨ 第4分区A・B 合同インターシティミーティング 3/ 9(G月信 vol11. p05)
- ⑩ 第4分区B・5RC合同ロータリーデー活動
『多々良沼周遊道清掃』 3/23(G月信vol11. p30)
- ⑪ 第4分区A・B 10RC合同春季親睦ゴルフ大会(鳳凰) 4/ 5
- ⑫ 館林東ロータリークラブ 創立35周年記念例会 4/20
- ⑬ 第4分区B・5RC合同公共イメージ向上作戦
『国道交差点に交通安全標語の看板設置』 5/18(G月信vol12. p10)
- ⑭ 第4分区A・B 合同 現新会長幹事会 6/11

3. 会員増強/退会防止活動

一番の課題と受け止めスタートしましたが、残念な結果で、自らの指導力不足を否認しません。今後各クラブの戦略計画の中で、長期的視野から挽回をしていただくようお願い致します。

	年度初	クラブ目標	5月末現在	入会数	退会数
館林RC	53	58(+5)	54	2	1
大泉RC	34	37(+3)	36	2	0
館林西RC	21	23(+2)	19	0	2
館林東RC	21	22(+1)	19	1	3
館林ミレアムRC	27	28(+1)	26	0	1
合計	156	168(+12)	154	5	7

4. 地区行事出席状況

- ①ガバナー補佐会議 第1回(伊香保岸権) 17/11/26 第2回 18/6/2
- ②ガバナー補佐/委員長合同会議 第1回 17/12/9 第2回 18/3/31 第3回 9/22
- ③PETS/SETS (伊香保福一) 18/3/17~18 事前打合せ 3/5
- ④地区研修・協議会(東洋大板倉) 18/5/13 準備打合せ会議 3/27
- ⑤会員増強セミナー 18/6/2
- ⑥現新地区役員合同連絡会議(高崎) 18/6/16
- ⑦RLI研修セミナー DL研修会 8/4 第1回 9/16 第2回 10/7
- ⑧ロータリー財団セミナー 8/18 補助金管理セミナー 11/10
- ⑨会員組織強化/女性ネットワーク合同委員会 第1回 8/25 第2回 19/1/26
- ⑩地区大会記念チャリティーゴルフ大会(鳳凰) 9/9
- ⑪米山奨学研修セミナー 9/30
- ⑫地区大会(館林市文化会館) 10/7 指導者育成セミナー(同左) 10/6
- ⑬女性フォーラム 19/5/18
- ⑭現新地区役員合同連絡会議(館林) 19/6/15 (記載以外は前橋にて開催)

5. 最後に

宮内敦夫ガバナー並びに諸先輩の皆様には、この一年間、温かなご指導を賜わり、そして第4分区の皆様には、多くの場面で多大なお力添えをいただき、誠に感謝に堪えません。皆様に支えられ、微力ながら緊張感をもって、充実した1年を過ごすことが出来たと思います。

5月に国道122号線大根村交差点に交通安全標語の看板を設置したイベントが、当分区として本年度最後の活動となりました。先月号と重複しますが、そのときの写真を掲載します。



第5分区 ガバナー補佐 年間活動報告

第5分区ガバナー補佐 佐藤 秀樹(渋川IRC)

1. クラブ訪問実績

	第1回	第2回	第3回	第4回
渋川	8月2日	9月6日	2月7日	5月23日
沼田	7月24日	9月4日	2月19日	5月19日
草津	7月26日	8月23日	—	5月16日
中之条	8月7日	8月21日	2月12日	5月21日
沼田中央	8月9日	—	2月21日	6月6日
渋川みどり	7月17日	8月28日	2月26日	4月23日

○クラブ訪問内容

- 第1回
- ・各クラブへの挨拶と自己紹介
 - ・RIテーマの伝達と説明
 - ・宮内ガバナーの方針ならびに地区目標の伝達および説明
 - ・ガバナー公式訪問実施要項の伝達
 - ・各クラブの現況ならびに問題点の把握
- 第2回
- ・ガバナー公式訪問の随行
- 第3回
- ・宮内年度前半の総括と後半の行事への協力要請
 - ・第5分区IMの趣旨説明ならびにテーマの周知
- 第4回
- ・宮内年度の総括と一年間の協力に対するお礼
 - ・地区目標達成状況の確認と達成に向けての協力要請
 - ・今後の第5分区ガバナー補佐の選出方法について

2. ガバナー公式訪問

- 8月21日(火) 中之条ロータリークラブ
 8月23日(木) 草津ロータリークラブ
 8月28日(火) 渋川みどりロータリークラブ
 8月30日(木) 沼田中央ロータリークラブ
 9月4日(火) 沼田ロータリークラブ
 9月6日(木) 渋川ロータリークラブ

3. 第5分区会長幹事会

- 第1回(1/17)
- ・宮内敦夫ガバナー地区目標について
 - ・ガバナー公式訪問要項と日程について
 - ・IMの開催について
 - ・2018-2019年度地区行事予定について
 - ・第5分区各クラブ周年行事について



第6分区 ガバナー補佐 年間活動報告

第6分区ガバナー補佐 静 朋人 (碓氷安中RC)

地区内最小クラブからのガバナー補佐の輩出という事情から、着任が遅れ皆様にご心配を頂きましたこと、まずもってお詫び申し上げます。また、第6分区8クラブの会長・幹事の皆様には訪問日程の調整や受け入れ、分区事業への参加協力にご尽力いただき深く感謝申し上げます。また改めて富岡・藤岡・安中の担当範囲の広さや各クラブの事業の特徴を実感し、私自身のロータリーへの理解や今後の活動の指針ともなりました。任期一年間に渡り大変お世話になり有り難うございました。

□事前訪問 第1回目 自己紹介・本年度地区のテーマ

富岡中央	7月12日	富岡かぶら	7月17日	藤岡	7月19日	安中	7月10日
富岡	7月11日	碓氷安中	7月26日	藤岡南	7月27日	藤岡北	7月31日

□事前訪問 第2回目 地区運営方針の概略・年度スケジュールの概略

富岡中央	9月27日	富岡かぶら	8月 7日	藤岡	8月23日	安中	8月21日
富岡	8月 8日	碓氷安中	8月 9日	藤岡南	8月24日	藤岡北	10月16日

□ガバナー公式訪問

富岡かぶら	9月11日	富岡	9月12日	碓氷安中	9月13日	安中	9月18日
藤岡	9月20日	藤岡南	9月21日	富岡中央	10月25日	藤岡北	11月13日

□会長幹事会

日 程	場 所	議 題
2018年2月26日	安中 並木苑	年間日程調整 現況報告
2018年11月5日	安中 並木苑	IM開催要項 ロータリーデー開催要項
2019年6月28日	安中 並木苑	年間総括 会員増強結果報告

□インターシティーミーティング

開催日 2019年2月9日
場 所 並木苑
実行委員長 桜井 幹夫

実行委員会の立ち上げから約半年間準備を続け、本年度は2月9日土曜日に開催を致しました。宮内敦夫ガバナー、森田高史ガバナーエレクト、小暮雅丈地区幹事を来賓として迎え、その他第6分区内のメンバー約80人の出席をいただきました。まず宮内ガバナーより「クラブを元気に、世界に奉仕を、みんなで回そうロータリーの輪」のテーマに則り基調講演をいただきました。



内容は仏教の寓話をヒントに同じ行動であっても相手の立場に立って見方を変えればお互いの理解に通じる。という内容でした。また現状のメンバー増強が思わしくなく、年度末6月の減少を念頭に置き、何とか5%純増13名の達成をお願いしたいという事でした。

続いての各クラブ代表による本年度の成果と今後の予定、また特にメンバー増強については年度末予測を発表していただきました。改めて各クラブの特徴ある事業の取り組みや現状の相互理解につながり貴重な時間となりました。

発表者は以下の通りです。

富岡	岩瀬 克巳	藤岡南	古市 和男
富岡中央	佐藤 正宏	藤岡北	大塚 慶甫
安中	古賀 直樹	藤岡	岩井 智
富岡かぶら	大小原 憲二	碓氷安中	菅田 秀樹

引き続き懇親会が開催されました。着座形式で各クラブから数名ずつ円卓の席次とし、メンバー同士のより活発な交流が行われました。最後に「手に手つないで」の合唱により和やかなうちに閉会となりました。

□ロータリーデー

開催日 2019年4月18日

場 所 碓氷峠の森公園交流館

内 容 記念植樹・ヤマモミジ6本

本年度の開催は、2月23日ではなくIM日程との調整により4月とさせて頂きました。連日の不純な天候に悩まされながら、当日は晴天の中、無事開催となりました。安中茂木市長、宮内ガバナーを来賓として迎え、区内8クラブより71名の参加を頂き、新設の公園内メイン通路脇に若干汗を流しつつ6本のヤマモミジと、御影石のプレートの設置が無事終了致しました。

当日の様子は上毛新聞の取材を受け、後日掲載となりました。無事ロータリーの活動の広報、公共イメージの向上に貢献できたと思われまます。

□会員増強結果 2019年4月末現在

	7月1日	目標	4月末	純増
富岡	44	4	45	1
藤岡	52	5	52	0
安中	53	3	54	1
藤岡北	15	2	15	0
富岡中央	35	3	36	1
藤岡南	13	5	15	2
富岡かぶら	31	2	31	0
碓氷安中	11	1	10	-1
合計	254	25	258	4

年初の目標は大幅に達成できず、また年度地区目標5%にも届かず残念な結果となってしまいました。

□ 総 評

当初の心配をよそに振り返ってみれば非常に充実した一年でありましたが、いくつかの感想を次年度への引継ぎとして残したいと思います。

- ・ 補佐としての資質について 以前よりガバナーの手となり足となり、補助をする場面が増えており研修になったとたん焦ってしまいました。事前に候補者には内容の告知と納得が必要だと感じました。
- ・ 出席要請回数について 第6分区8クラブの担当は区内でも負担の多い状況であり分割なりの検討が必要な気がいたしました。
- ・ 組織としてのフォロー体制について ガバナー補佐輩出クラブ、または地区組織において補佐の幹事としてのスタッフの任命が必要と感じました。
- ・ クラブ訪問の回数について 特に第6分区においては年4回の縛りを再考する必要性を感じました。

以上



地区研修委員会 年間活動報告

委員長(地区研修リーダー)	パストガバナー	竹内 正幸	(太田)
副委員長	直前ガバナー	田中 久夫	(高崎)
委員	ガバナーエレクト	森田 高史	(伊勢崎)
委員	ガバナーノミニ	山田 邦子	(前橋)
委員		平田 育夫	(前橋西)
委員		五十嵐 敏明	(太田西)
委員		関口 亮二	(館林ミレアム)
委員		水石 清治	(沼田)
委員		堀口 正孝	(安中)
担当副幹事		滝野瀬 博志	(館林)

地区研修委員会の役割は、ガバナーおよびガバナーエレクトを補佐して、クラブや地区指導者の研修を企画・実施することです。

本年度は以下の任務を遂行しました。

1. 宮内ガバナーエレクトと協力し、以下の研修ニーズに対応しました。
 - a. PETS
 - b. 地区研修・協議会
 - c. 地区チーム研修セミナー(ガバナー補佐の研修を含む)
2. 宮内ガバナーと協力し、以下の研修ニーズに対応しました。
 - a. 地区指導者育成セミナー
 - b. 新会員セミナー
 - c. 地区におけるそのほかのセミナーのサポート
3. クラブ活性化につながる「クラブレベルの指導力開発」も地区研修委員会の重要な使命ですが、各クラブに配置された「クラブ研修リーダー」を直接支援する活動は本年度は実施いたしませんでした。

RLI推進委員会 年間活動報告

アドバイザー	パストガバナー	本田 博己	(前橋)
委員長(地区研修リーダー)	パストガバナー	竹内 正幸	(太田)
委員		田部井 丑松	(太田)
委員		小池 敏郎	(館林)
担当副幹事		谷田川 敏幸	(館林)

RLI(ロータリー・リーダーシップ研究会)セミナーは、本年で第8期を迎えました。クラブの会長エレクト・次年度幹事が、PETSや地区研修・協議会の前にロータリー全般の認識を深め、学ぶ契機とする機会として定着しています。

RLI推進委員会は、地区研修委員会と連携し、事務局として、2840 地区版カリキュラムの作成、ディスカッションリーダー研修会(2018.8.4)、パートⅠ(9.16)、パートⅡ(10.28)、パートⅢ(11.25)セミナーの企画・運営、そして次年度(森田G年度)のPETS分科会(2019.3.16)にて卒後コースを行いました。

危機管理委員会 年間活動報告

委員長	森田 均	(渋川)
副委員長	松倉 紘洋	(富岡)
委員	原 敬	(伊勢崎)
委員	齋藤 勝也	(富岡かぶら)
委員	竹澤 泰子	(国際交流協会)
担当副幹事	石川 長司	(館林)

1. 危機管理委員会は、その職掌からして、一般的な提言や研修はさておき、委員会として本来の活動は休止していることが望ましい委員会といえる。
2. これまでの当委員会の具体的活動は、以下のとおりである。
 - ①2007年、地区大会終了後の懇親会場における留学生に対するセクシャルハラスメント事案について検討。
 - ②2011年、東日本大震災後の交換留学生の早期帰国の問題を検討。
 - ③2016年、危機管理の概念を拡大し地区レベルでの危機管理セミナーを実施。
「危機管理」をテーマとした講演を実施
3. 本年度、当委員会が、特別な活動の必要性を認めた事案は、幸い、なかった。
4. 当委員会としては、今後とも、ロータリークラブやロータリアンに対し、啓発活動を行うとともに、所謂72時間ルール(危機管理委員会所管事項が生じた場合、72時間以内に国際ロータリーに事案を報告しなければならないルール)をふまえ、有事の折には、早急かつ適切な対応がとれるよう心掛けたい。

審議会立法案検討委員会 年間活動報告

委員長 曾我 隆一 (前橋)
副委員長 本田 博己 (前橋)
委員 各ガバナ-補佐

2018-2019年度の委員会報告は2点、①2018決議審議会とRI理事会決定、②2019規定審議会について以下、概略報告します。

1. 2018決議審議会について

2018年10月15日～11月15日の間、オンラインにて審議がされました。提出された案件は世界15か国から55件、うち日本は6地区から23件あり、当2840地区から3件(18R-02:中核的価値観の順序や解説を採択当初の表現に戻すことを検討するようRI理事会に要請する件。18R-03:ロータリーの基本原則の研究と教育の活動状況を開示するようRI理事会に要請する件。18R-28:該当地域(ゾーン)のロータリー雑誌に各理事が理事関連活動を掲載することを義務付けるようRI理事会に要請する件。)が提案されましたが、採択されたのは、18R-02,28の2件でした。

2019年1月開催のRI理事会にて採択された案件の審議がされ、03については中核的価値観の順序はいずれも大切さの差異はなく、戻すことの必要はない。28については、これまで以上にRI理事会活動の開示努力を徹底したい旨の決議がされました。

2. 2019規定審議会について

2019年4月14日～18日シカゴのハイアット・リージェンシーホテルにて開催されました。2019年ロータリーの「友」4月号に特集を掲載しました。今回の関心度の高い採択されたものとしては、・ローターアクトクラブをRIの構成メンバーとすること・職業分類の制限を廃止する。・会員身分の制約に、「各クラブは、多様性を推進するような均衡の取れた会員構成を構築するよう努めるものとする」を追加。・標準ロータリークラブ定款と国際ロータリー細則を実質的な変更を行うことなく、読みやすかつ、簡素化する。=2019年版から手続要覧が大幅にバージョンアップがなされます・事務総長の呼称を、RIの最高執行責任者から最高経営責任者に変更する。(COO⇒CEO)

3. その他の重要な事項

2019年度からRIの新戦略計画がスタート。RIが認識しているロータリーの課題として、
・世界の会員数の停滞・RI組織構造の複雑さ・任期交代制による連続性の欠落・ポリオ撲滅後の世界を見据えた計画の必要性そして、外部の環境要因として、科学技術、人口動態、社会的変化、競走社会の変化、経済の変化、潜在的要因の変化、等々をあげています。



地区戦略計画委員会 年間活動報告

アドバイザー	パストガバナー	清 章司	(藤岡)
アドバイザー	パストガバナー	本田 博己	(前橋)
委員長	パストガバナー	生方 彰	(沼田中央)
委員	パストガバナー	田中 久夫	(高崎)
委員	ガバナー	宮内 敦夫	(館林)
委員	ガバナーエレクト	森田 高史	(伊勢崎)
担当副幹事		滝野瀬 博志	(館林)

「2020年」当地区は、第2840地区として確立し20周年という大きな節目を迎えます。この大きな節目を「変化」と捉え、未来へ繋ぐビジョンを2017年4月の地区大会に於いて決議を頂きました。

このビジョンを指標とし、45クラブが「魅力ある元気なクラブ」目指して独自のクラブに見合った長期計画を作り上げて頂けるよう、各クラブからの要望に応え下記のような活動をして参りました。

1. クラブからの依頼による出前卓話
2. 第2840地区20周年記念誌の編集委員会の設置

20周年記念式典・記念誌委員会 年間活動報告

委員長	パストガバナー	竹内 正幸	(太田)
委員		市村 信也	(藤岡南)
委員		伊藤 好則	(富岡)
委員		川嶋 正靖	(高崎)
担当副幹事		山本 樹	(館林)

来る、2020年の記念すべき当地区の20周年に向け、記念式典や記念誌発行の企画・検討・準備をして参りました。主に、本年度は記念誌発行に向け、掲載内容や原稿依頼先・依頼時期等具体的な事項を決定し、既に各クラブへは、バナーのご提出を頂いており、回収しております。原稿依頼につきましては、2019年7月1日で準備を進めておりますので、皆様方の御協力をよろしく御願い致します。

また、記念式典に関しましては、企画内容や出席対象者等について協議・検討し、より内容を具体的に詰めております。次年度も引き続き、鋭意準備を進めて行きますので、皆様のご協力をよろしく御願い致します。

【2840地区創立20周年記念式典】

開催日：2020年2月23日(日)

場 所：伊勢崎プリオパレス

ロータリー財団委員会 年間活動報告

アドバイザー 牛久保 哲男 (伊勢崎)
委員長 板垣 忍 (前橋)
担当副幹事 長柄 純 (館林)

ロータリー財団は、財務の健全性及び説明責任と透明性における堅実さが認められ、チャリティナビゲーター（米国で最大の慈善団体の格付け機関）から最高である4つの星評価を受けました。これで連続10年目です。

「誰もが聞いたことのある慈善団体ベスト10」のリストでは、ロータリー財団が、満点の100スコアで、他の2団体と同スコアで第一位となっています。

2018-19年度ロータリー財団管理委員長の目標

ロンD、バートン管理委員長は、全人類の生活の質を高めるという約束を果たすために次のような目標を立てました。

1. 年次基金の目標は、人々の人生を変えるような数多くのプログラムを引き続き支援していくために「1億3700万ドル（前年度1億3500万ドル）」です。
2. ポリオ撲滅は今後も第一の優先活動となります。ポリオの募金目標は、年間5000万ドル（前年度3500万ドル）です。
3. DDFの全額を遣って世界でもっと「よいこと」をするよう全地区に呼びかけます。
4. 2025年までに20億2500万ドルというロータリー財団を築くため、財団の恒久基金への寄付を呼びかけます。現在の手持ちは4億2100万ドル、誓約による見込み額が7億6700万ドルということですが、「2025 by 2025」という恒久基金目標に向けロータリアン全員に理解とご協力を求めます。

宮内ガバナー年度における財団目標

1. 年次基金寄付・・・1人当たり・・・150ドル以上 メジャードナー5名以上
2. ポリオ・プラス・・・1人当たり・・・30ドル以上
3. 財団の補助金を活用して、地域社会・世界に奉仕をしよう

地区セミナーの開催

1. ロータリー財団セミナー 2018年 8月18日(土) (前橋問屋センター会館)
今年度は、例年のプログラムの他に、第2760地区福田哲三職業研修チーム委員長(名古屋和合RC)に「GG補助金に対する取り組みへのヒント」と題して講演をいただきました。その結果、補助金の活用につながり成果が得られました。
2. 財団補助金管理セミナー 2018年11月10日(土) (前橋商工会議所会館)
セミナーの内容を見直して午後からの開催で行いました。参加いただいた多くのロータリアンから好評との言葉を頂きましたので、今後はさらに工夫して開催したい。

DDF(地区活動資金)からの基金寄付

1. ポリオ・プラス基金に・・・30,000ドル
 2. ロータリー平和センター基金に・・・30,000ドル
- 初めてだらけでオタオタしていましたが、皆様方のご協力に感謝申し上げます。

資金推進委員会 年間活動報告

委員長	町田 久	(渋川)
副委員長	金井 修	(前橋西)
委員	豊田 明美	(高崎)
担当副幹事	関口 昇	(館林)

ロータリー財団は、1917年にアトランタで開催された国際大会に於いて当時の会長のアーチ・C・クランフが“全世界的な規模で、慈善・教育・その他の社会奉仕の分野で、より良いことをする為に、基金を作ろう”と提案したことに始まります。

本年も、その目的に叶う為に、種々の目標を掲げて活動してまいりました。一昨年は、ロータリー財団100周年ということで色々な催しが開催されましたが、今年も、その目的に沿って活動を続けてまいりました。

これらを支えて頂いたのも、会員皆様のご協力の賜物と、心より感謝申し上げます。

ロータリーが行っている良いことの、外部へのPRは、中々思うようにいかない面もあるのですが、今後も各クラブでの成果をより強力にアピールしロータリー活動の有意義さを、外部に向けて継続して発信出来ればと、願っております。

年次寄付につきましては、本年も昨年と同様に、1人当たり150ドルをお願いしてまいりました。

お陰様で、その目標額に達したクラブ、残念ながら少し足りなかったクラブ等々がありましたが、全体として立派な成果を上げることが出来ました。ご協力に感謝申し上げます。

大口寄付等につきましても、それぞれご協力頂き有り難うございました。

中々、経済情勢は厳しいものがありますので、ご協力頂いた方々には様々なご苦勞があったとは思いますが、ロータリーの理想の為に貢献頂き、頭の下がる思いで一杯です。

今後共、各会員の皆様方のご協力をお願いして、今年度の報告に代えさせていただきます。有り難うございました。

資金管理委員会 年間活動報告

委員長	渋澤 誠	(太田)
委員	永井 寛之	(沼田中央)
委員	高橋 郁夫	(伊勢崎)
署名人	町田 久	(渋川)
署名人	金井 修	(前橋西)
担当副幹事	関口 昇	(館林)

2018-2019実施年度(宮内年度)には、44クラブ29事業の申請を頂き、審査を実施しているところでございます。

現在、23クラブより報告書の提出を頂き6月21日(第4回)の審査において残りの6件の審査を実施する予定であります。

第一回及び二回の審査で、20件程度、受理又は、ほぼ確認済みとなった事業がございました。これは各クラブのご担当者が趣旨を良くご理解頂き、且、各分区担当の地区補助金委員のご協力の成果と感謝しております。

本年度より、報告書も申請書同様webにて提出して頂く運びとなりました。webの関連で多少の問題が発生いたしました。関係各位のご努力により程なく解決し安堵いたしております。

又、2018-2019計画年度において、地区補助金の申請額に大きな変革が行われました。各クラブ様の3年前の寄付額の25%までの金額であれば、クラブ負担0円も可能となり、従前の50%ルールが大幅に見直された年度でございました。

2017-2018年度の申請から、原則としてプロジェクト実施日を4月末までとし(プロジェクトの内容により柔軟に対応しております)、プロジェクト実施後1ヶ月以内に報告書を提出していただく事となっております。ご協力の程を重ねて宜しくお願いいたします。

各クラブのご担当者には、早い段階にて分区担当地区補助金委員とプロジェクト内容を詳細に協議し、ハンドブックを活用して申請されますようお願い申し上げます。

終わりに、各分区担当地区補助金委員、議事録等を作成して下さった担当地区副幹事、ガバナ―事務局の皆様にご感謝いたします。

ありがとうございました。

ポリオプラス委員会 年間活動報告

委員長	橋谷 晋治	(高崎北)
委員	門倉 正	(前橋北)
委員	新井 照秋	(前橋東)
担当副幹事	長柄 純	(館林)

今年度も、全会員の皆様に一人あたり30ドルのご寄付をお願いしました。ポリオプラスレポートによりますと、2019年6月5日現在では、52,631ドルのご協力を頂きましたので、2840地区会員数2,112人としみますと、一人当たり24.9ドル、達成率83%という状況になっております。

これは、例年6月末にまとめて寄付されるクラブがありますので、達成率はこれをかなり上回って地区目標を達成できるものと思われまます。

皆様方の一年間のご協力に、委員会として心より感謝申し上げます。

RI日本事務局財団室ニュースによりますと、野生株によるポリオ症例数は2017年では22件、2018年ではパキスタンで12件、アフガニスタンで21件、合計33件報告されており、前年を若干上回っているものの2019年1月1日～5月22日までに24件の発症例が報告されており確実に減少しています。なかでも、常在国のナイジェリアが、2年連続で発症例0となっており今年0のまま推移すれば、3年連続発症例ゼロとなりナイジェリアでは、ポリオフリー宣言される可能性が高まってきます。

ポリオ撲滅は容易ではないと言われています。しかし「ポリオプラスは、RIの特別プログラムであり、ポリオフリーが全世界に宣言されるまでは全てのプログラムに優先される」とあります。

今後も、会員皆様にご理解頂き引き続きご寄付を頂けます様宜しくお願い申し上げます。

また、ガバナー補佐、各クラブ会長、幹事には、お忙しいとは思いますが、ポリオプラスレポートをご覧いただき、各クラブの状況に関心を持って貰うようお願い申し上げます。

この一年間ご協力有難う御座いました。

補助金委員会(地区補助金委員会・グローバル補助金委員会) 年間活動報告

委員長 山田 利和 (富岡かぶら)
担当幹事 長柄 純 (館林)

ロータリー財団の補助金が現制度になって7年目になりました。歴代の委員長及び委員会の皆様の努力と各クラブの積極的な取り組みによってこの補助金制度も定着し、素晴らしい成果を上げられています。心から感謝申し上げます。

今年度も各クラブのプロジェクトの計画申請・実施報告がスムーズに作成できますように「2018-2019年度 2840地区ロータリー財団ハンドブック」を改訂しました。このハンドブックは可能な限りクラブ目線に立ってわかりやすい解説を目指し、前年度で協議した事項について修正を加え最新版になっております。また、このハンドブックはガバナーホームページにアップしていますので引き続きご活用ください。

1.地区補助金

地区補助金の配分可能額は3年前の年次寄付実績の4分の1です。この基本に立ち返り、今年度はクラブの地区補助金申請限度額を各クラブの3年前の年次寄付実績の4分の1に改めました。諸問題について委員会で協議を行い、クラブの皆様にご納得していただけるように説明させていただきました。申請が上がってくるまで心配していましたが、クラブの皆様のご理解により43事業、44クラブからの申請をしていただき、無事、全ての申請が承認決定しました。

昨年度より実施したWeb申請も今年は2年目になり、更に今年度は報告もWebで行いました。結果、申請から報告までWebでできることになり、作成、確認、全委員への配布、審査等が飛躍的に効率よく進められました。第1回予備審査が陽のあるうちに終了できたのは画期的なことでした。

今後も改善を重ね、地区補助金が申請から報告までスムーズにできるよう努力していきたいと考えています。

2.グローバル補助金

グローバル補助金は6つの重点分野が特定されており、国際プログラムでもある為プロジェクトの立案や英語を中心とする申請手続き等、地区補助金に比べて手続きに時間や手間がかかります。

しかし、今年度は過去最高の9件の申請件数になりました。7年間の委員会の活動と各クラブの積極的な取り組みにより成果が出てきたものと考えています。

特に今回行われたインドネシアの「バリタマンRC(実施国)」と「富岡かぶらRC(援助国)」とのグローバル補助金事業は申請から実施まで3か月で行うことができました。バリタマンRCが既に何度も当事業を行い、慣れているということや富岡かぶらRCと交流があったという好条件でもありましたが、最初に援助国としてこのような経験を積むことは、円滑に運べる良い例だと感じました。

今後、多くのクラブがグローバル補助金事業にチャレンジされることを期待しています。

地区補助金委員会 年間活動報告

委員長	今井 幸吉 (沼田)	副委員長	嶋方 智之 (高崎)
委員	齋藤 三郎 (前橋南)	委員	高森 勉 (桐生西)
委員	福島 敬二 (伊勢崎南)	委員	川口 修平 (高崎南)
委員	大谷 教夫 (新田)	委員	本島 克幸 (館林)
委員	小見山 健次 (渋川みどり)	委員	嶋田 佳幸 (富岡かぶら)
担当副幹事	長柄 純 (館林)		

1、地区補助金（本年度計画・次年度実施）

- (1) 申請件数 43件(申請クラブ数44クラブ)
- (2) 申請総額 9,567,633円
- 補助金決定総額 11,251,181円 (100,457ドル)

今年度の申請より申請可能額を3年前(2016-2017年度)の年次寄付実績額の1/4以内とし申請可能額の範囲内であればクラブ拠出金を出さなくても良いこととしました。

今年度地区補助金分配可能額は86,657ドルでしたが、財団より特別分配金として20,377ドル分配され、補助金分配可能額は107,034ドルとなり地区補助金決定額が100,457ドルでしたので、残り6,577ドルはDDFに組み入れました。

今年度より報告もWebシステムとなりました。以前より審査は効率的になったと感じました。今年度の始め、各クラブに送付したWebシステムのIDとパスワードを個人のメールアドレスに送付したため確認できないトラブルがありました。今後は各クラブ事務局へ送付した方が良いと思います。

2、委員会(審査会)活動経過

開催日	内容	場所	備考
2018年6月9日	第1回地区補助金委員会	ガバナー事務所	Web申請の操作及スケジュール確認、ハンドブックの改定
6月22日	地区補助金追加審査会	ガバナー事務所	2017-18年度実施事業報告書審査及び2018-19年度Web報告システム勉強会
8月4日	第2回地区補助金委員会	前橋問屋センター会館	財団セミナー打ち合わせ勉強会
8月18日	ロータリー財団セミナー	前橋問屋センター会館	
10月27日	第3回地区補助金委員会	前橋問屋センター会館	補助金管理セミナー打合せ勉強会
11月10日	補助金管理セミナー	前橋商工会議所	Web申請の操作方法と注意点の説明
2019年1月19日	第1回地区補助金予備審査会	前橋商工会議所	
3月23日	第2回地区補助金予備審査会	前橋商工会議所	
4月20日	地区補助金最終審査会	前橋商工会議所	2019-20年度実施の申請を承認
6月21日	地区補助金追加審査会	セキスイハイムビル	最終審査後提出の報告書審査

グローバル補助金委員会 年間活動報告

委員長	津久井 功	(沼田)
副委員長	小林 洋樹	(前橋)
委員	久保田 寿栄	(桐生)
委員	飯島 芳臣	(高崎シンフォニー)
委員	待山 ラファット	(館林東)
委員	富岡 隆	(富岡中央)
担当副幹事	渋澤 勉	(館林)

今年度は、申請件数9件で過去最多の結果となりました。財団承認済みは、6件で、DDF利用実績は5件です。

国別に見ると、DDFの利用は、①インドネシア17,125ドル（富岡かぶら）②フィリピン30,000ドル（20,000ドル伊勢崎、10,000ドル桐生西）③韓国3,123ドル（太田）④モンゴル26,500ドル（前橋）VTT合計76,748ドルでした。

地区としては、グローバル補助金活用の事業を実施すべくいろいろな機会を通じて案内をしてまいりました。その成果が、この年度で少しずつではありますが成果が出てきました。事業活動については、活用事例を発表する機会を設けていろいろなケースを共有する必要があります。

課題でありました研修ですが、新旧委員会の引継ぎを兼ねた学習会を財団委員長、補助金委員長のもと開催することができました。

地区としては、よりサポート体制を充実して全クラブで利用できるようにしていきたいと思えます。

会員組織強化委員会 年間活動報告

アドバイザー	パストガバナー	安藤 震太郎	(高崎北)
委員長	直前ガバナー	田中 久夫	(高崎)
副委員長	パストガバナー	生方 彰	(沼田中央)
委員		各ガバナー補佐8人	
担当副幹事		浦野 隆	(館林)

- 今年度当初、宮内敦夫ガバナーは、クラブの活性化のためには「会員増強・退会防止の方策を考えよう。特に、若手会員・女性会員加入促進と養成に努めよう。」として、当地区の運営方針を示しました。
- 特に、会員増強の数値目標としては
 - 1) 地区目標110名以上の純増
 - 2) 各クラブ5%以上の純増を掲げて、地区・クラブをあげて目標達成のために努力を重ねてきました。

加えて、当地区はいまだ女性会員数が全体の6%に過ぎないため、当委員会は女性ネットワーク委員会と協力して、

 - 1) 女性会員の増加(2020年までに200名に)
 - 2) 女性会員ゼロクラブをゼロにするという目標を立てました。
- そのために、当委員会の委員には分区(グループ)を統括する8人のガバナー補佐を揃え、統括する分区(グループ)単位の会員数動向に注視し、分区単位でも5%の増強達成を意識し、また分区(グループ)内の各クラブの会員状況を監理し、増強に対しての適切なアドバイスを行っていただくという強力な体制を備えました。また、各クラブの会長・幹事には、常に会員数の具体的な数値目標を掲げ、会員に増強の意識を持たせるための各種方策を実践し、またその責任者である会員増強担当委員長には是非とも若手の人材を登用して、会員増強の実をあげるよう工夫していただきたい、と進言してきました。
- しかしながら、2019年4月末の状況を示した手許資料では、地区の会員数は2,138人(年度初め(2,112人)との比較で26人増)であり、うち女性会員は4月末現在163人(同(151人)との比較で12人増)との厳しい状況となっています。例年、6月末には地区全体において約50人の会員が減少している経緯からすると、今年度末の実数は前年度を下回ってしまう可能性があり、次年度の地区予算編成に大きな影響が生じることになります。さらには、女性会員がゼロのクラブ数も前年度より増加している残念な状況も伝えられています。
- 次年度では、ガバナー、地区幹事、当該委員会委員長が本気になって会員増強に勤しまないと、地区の会員数が逡減していくことは確実です。次年度の地区リーダー達の一層の奮起を期待しています。

女性ネットワーク委員会 年間活動報告

アドバイザー	パストガバナー	疋田 博之	(桐生)
委員長		阿部 豊子	(館林東)
副委員長		中澤 洋子	(高崎)
委員		望月 和子	(前橋)
委員		高橋 淳子	(伊勢崎中央)
委員		相山 美喜江	(太田西)
委員		橋本 文華	(館林)
委員		豊野 はるみ	(沼田中央)
委員		布施 千夏	(藤岡)
担当副幹事		後藤 英世	(館林)

『女性ネットワーク委員会』は2014-2015年度、女性会員拡大増強を目的に発展し、今年で5年目を迎えました。現在女性会員156名、200名を目標に頑張っています。女性会員0のクラブがまだ3クラブあり、出前卓話に出張し、女性会員の意義を説明し、お願いして参りました。一日も早く女性会員0のクラブを無くしたいです。

昨年「ロータリーは男社会で女性が少なく、馴染めなく、居心地が悪い」と言うことで始まった分区ごとの女子会。思いのほか盛り上がり、親睦がはかられ、成果が上がりました。本年度は一寸学習を取り入れ、質の向上を計り、単なる飲み会ではなく有意義な女子会になってきたように思います。

・東京ロータリークラブへメイクアップ(3月6日)

女性ネットワーク委員会で東京ロータリークラブへメイクアップの為、帝国ホテルへ行きました。ちょっとお洒落をし、緊張して参加しましたが、東京ロータリークラブのメンバーの方々のおもてなしの心に溢れた接し方に居心地が良く、接待のあるべき姿を見た思いがしました。

又一流企業の方々と名刺の交換をし、ロータリーの仲間であることを不思議な気持ちで自覚いたしました。学ぶべきことが多く、大いにメイクを行うべきです。

・女性セミナー(5月18日)

ガバナー補佐に参加して頂き、セミナーを開きました。女性会員が一堂に会し、女性ロータリアンとして何をすべきか、ロータリーに女性が入会して良かったか、悪かったか…等、活発な意見交換が出来ました。女性ロータリアンは仕事の他に、子育て、家事があり、とにかく忙しいのです。その中で時間を作りだし、ロータリーに出席するので異業種の人との出会いは非常に意義を感じるという人が多くいました。

経済力のある女性は強い。そして社会的責任を持っている限りないパワーを感じます。

今後クラブで女性会員の潜在能力を引き出し、活用することがロータリーの活性化となり増強につながります。

管理運営・IT委員会 年間活動報告

委員長 森田 高史 (伊勢崎)
副委員長 林 義行 (高崎)
担当副幹事 田部井 剛史 (館林)

管理運営委員会

1. CLP(Club Leadership Plan)の導入・定着の推進

本年度は宮内ガバナーの方針により、各クラブに対して戦略計画の立案を提唱し、また次年度の森田ガバナーエレクトの方針でも、同様に戦略計画の立案が強く要請されたため、結果的にCLPの導入・推進が図れたものと思います。

2. 卓話・クラブ研修出前サービスの推進

ガバナー事務所に要請のあった出前サービスの実績は後記のとおりです。例年にも増して活用されたように思います。

3. RLI(Rotary Leadership Institute)の支援

本年度も、RLIのプログラムPart I～Ⅲ並びにPETSでの卒後コースが滞りなく実施されました。

次年度に向けて、また8月3日のDLセミナーに向けて、ディスカッションリーダーの要請を積極的に行ないたいと思います。

IT委員会

1. マイロータリーへの登録推進

クラブから毎月提出される会員移動報告書の新入会員について必ずマイロータリーへの登録を行うようフォーマットを変更して要請した結果、新規入会者のうち50人を超える会員の登録ができました。

2. RI会長賞への申請推進

申請期限が2019年6月30日と迫っておりますので、各ロータリークラブ・各ローターアクトクラブ・各インターアクトクラブへ申請するよう要請いたしました。

3. システムの改善

(1) 地区委員会等出欠システムの機能追加

現状のシステムでは、そのまま並び替えなどができないなどの部分がありますので、事務局が都度手間をかけないで集計できるよう改善を要請しています。

(2) 地区補助金報告システムの制作

本年度から地区補助金については、申請手続きに加え、報告手続きがシステムでできるようになり、順調に稼働しはじめました。



2018-19年度(宮内年度)卓話・研修出前サービス 実績

	クラブ名	日付	テーマ	講師名
1	伊勢崎南	2018. 7.10	クラブメンター候補者への教育研修	森田 高史
2	桐生赤城	2018. 7.17	宮内Gの運営方針とガバナー補佐としての所信表明	瀬谷 源
3	渋川	2018. 8. 9	会員増強・拡大月間にちなんで	田中 久夫
4	伊勢崎東	2018. 8.27	クラブ研修リーダーの役割について	森田 高史
5	前橋東	2018. 8.30	会員増強退会防止について	田中 久夫
6	渋川みどり	2018. 9.10	ポリオ活動について	水石 清治
7	渋川みどり	2018. 9.11	呼びかけようロータリーの友	生方 彰
8	前橋西	2018. 9.28	米山月間に因んで	板橋 一博
9	桐生南	2018.10.24	会員拡大・指導力開発育成について	田中 久夫
10	前橋西	2018.10.26	R財団月間に因んで	山田 利和
11	安中	2018.11.13	クラブ活性化-CLP	森田 高史
12	碓氷安中	2018.11.29	危機管理	森田 均
13	伊勢崎南	2019. 1.22	20年後のRID2840	竹内 正幸
14	沼田中央	2019. 1.24	ローターアクトについて	岸 慈音
15	高崎北	2019. 2. 6	女性ネットワーク	阿部 豊子
16	太田	2019. 2.14	新会員研修について	田中 久夫
17	高崎北	2019. 3. 6	ロータリー全般	本田 博己
18	桐生南	2019. 3.13	ロータリークラブの研修について	本田 博己
19	碓氷安中	2019. 3.28	ロータリーの歴史 理念	清 章司
20	安中	2019. 4. 9	女性ネットワークについて	阿部 豊子
21	沼田中央	2019. 4.25	青少年交換について	原 敬
22	桐生赤城	2019. 5.28	グローバル補助金について	津久井 功
23	桐生西	2019. 6. 7	ロータリーにおける危機管理	森田 均

公共イメージ(オン・ツー・ハンブルグ)委員会 年間活動報告

アドバイザー パストガバナー	福田 一良	(前橋西)
委員長	槻岡 行支	(大泉)
副委員長	阿左美 博	(桐生西)
委員	岡田 忠彰	(前橋中央)
委員	赤堀 賢二	(伊勢崎東)
委員	関口 啓子	(高崎南)
委員	堤 康吉智	(沼田中央)
委員	佐藤 三千子	(富岡)
担当副幹事	関井 宏一	(館林)

地区公共イメージ委員会は今年度5回程の委員会を開催し、公共イメージ向上に向けた地区活動のあり方や、オン・ツー・ハンブルグ参加に向けた会議などを実施して来ました。

オンツー・ハンブルグ

6月1日から5日にわたり、ドイツハンブルグにて開催されたロータリー国際大会に遠方にもかかわらず多くの方に参加いただきました。

参加目標人数50名登録に向けて鋭意努力させていただきましたが、45名の方々に参加をいただきハンブルグ国際大会の一役を担って参りました。地区月信の中で日程を追うかたちで行文的な内容で、ご報告をさせていただきましたが、参加された方々が体調を崩さず、元気に伝統と歴史あるドイツの風土を存分に味わっていただくと同時に、年一度の国際大会参加という大役をJTBの方と一緒に地区ツアーをフォローさせていただきました。

次年度は、国際大会推進委員会という単独委員会でのオンツー・ハワイホノルルとなりましたので、例年にも増したかたちで早くから募集活動を行い、常夏の国ハワイでの国際大会を多くの参加者で実現させて行きたいと思えます。

地域社会への公共イメージ向上

私たちは、各地域を始めとして多くの場面で社会奉仕活動を実践して来ましたが、これまで私たちはその活動を余り公表して来ませんでした。今年度は“知らせないから、知らせる”という方向に舵を切り「公共イメージを高めよう」という方針のもと、ボランティア活動を各地域で行っていただき地元新聞へ記事掲載や行政の通信媒体にクラブ活動を紹介していただき活動の“見えるか”を実践しながらクラブの公共イメージを高める努力を行って参りました。

ぐんま経済新聞では、全クラブ紹介記事の中で各クラブの社会奉仕活動事業の紹介をいただくなど公共イメージ向上に尽力してきました。

また、クラブや分区活動の中で“ロータリーディ”の設置、地区補助金の活用で地域社会支援、分区単位でのプロジェクト事業での交通安全標語を掲示した大看板の設置など、各クラブや分区で奉仕活動を実践し、地区として地域社会へクラブの存在感を高めていただきました。

学友委員会 年間活動報告

委員長	中繁 基	(館林西)
委員	塚田 且美	(高崎東)
委員	星野 薫	(大泉)
担当副幹事	田部井 剛史	(館林)

当委員会も新設されて以来4年目となりました。委員会メンバーも昨年と同じ2年目を迎え、学友名簿につきましても、これまでの調査で作成してきたものについて整理を行う時期かという事で、今後活用出来るものと、活用出来ないものを整理いたしました。

学友委員会の定義を皆様にご理解いただく為にもう一度記しておきますが、RIの定義が(2015~2016、生方ガバナー)年度に広がり、ロータリーの学友には、インターアクト、ローターアクト、RYLA、青少年交換、国際親善奨学生、グローバル補助金による奨学生、GSE、職業研修チーム、平和フェロー、米山記念奨学生(日本のみ)を含むすべてのロータリープログラムの参加者が含まれます。

今年度、委員はもとより、ガバナー事務所のスタッフにも大変な御協力を頂き、調査、整理をした名簿を全クラブに配信致しますので、名簿を活用して、学友の交流を深め、会員増強やクラブの活動にご利用頂ければ幸いに存じます。なお次年度は組織も変わることですので、新たな活動が推進されます様祈念申し上げ、本年度の委員会報告と致します。

記

2017年 12月9日	第1回ガバナー補佐、委員長会議 ・関係委員会委員長及びガバナー補佐に協力を依頼	前橋商工会議所
2018年 2月10日	地区チーム研修セミナー	前橋問屋センター会館
3月17日 ~18日	会長エレクト、次年度幹事セミナー(PETS・SETS) ・学友委員会活動方針発表	伊香保福一
3月31日	第2回ガバナー補佐・委員長合同会議	前橋問屋センター会館
4月5日	ガバナー事務所スタッフと打合せ	ガバナー事務所
5月13日	地区研修・協議会	東洋大学
6月2日	会員増強セミナー	前橋問屋センター会館
9月10日	第1回学友委員会	ガバナー事務所
10月6日	地区指導者育成セミナー	館林市文化会館
10月7日	地区大会	館林市文化会館
11月22日	ガバナー事務所スタッフと打合せ	ガバナー事務所
12月10日	第2回学友委員会	ガバナー事務所
2019年 4月1日	ガバナー事務所スタッフと打合せ	ガバナー事務所
4月15日	第3回学友委員会 ・本年度学友名簿まとめ	ガバナー事務所
6月14日	ガバナー事務所スタッフと打合せ ※後日各クラブに学友名簿配信	ガバナー事務所

以上

職業奉仕委員会 年間活動報告

委員長	松本 耕司	(館林)
委員	松永 文彦	(伊勢崎中央)
委員	中山 勉	(館林ミレニアム)
担当副幹事	渋澤 勉	(館林)

「職業奉仕、には種々な捉え方や、取組み方があるかと思っ、委員会の幅を広げて1年間取組んで参りました。

しかし、三大奉仕委員会とし地域社会奉仕委員会、国際奉仕委員会3つの委員会の予算を合わせても6万円(1委員会2万円)では、単独での取組は難しく、3委員会合同での取組を行いました。

職業奉仕の新たな捉え方として、第2570地区(埼玉)の「ブライダル委員会」の調査のため、清水佳代子委員長の日高市原宿の事務所に三委員長で往訪し長時間勉強をさせて頂きました。

婚活と銘打った「ふれあいブライダルパーティー」を開催、7組のカップルが誕生したとのことでした。このことも、職業・社会・奉仕の一つであると思いました。

私としては、自身の職業を通じて、社会奉仕に役立ってゆくこと、宮内ガバナーの「魅力あるクラブをつくらう」の実践に向けて、この一年間取組んで参りました。

また、第4分区B5クラブ共同奉仕事業として県有地を提供頂き館林市内に「陽光桜」を3月2日に植樹させて頂き、地域の方々からも大変感謝を頂きました。

「ロータリー活動は地域と一緒に、を実感させて頂いた一年でした。

◎RI会長のテーマは「インスピレーションになろう」のもと本委員会の活動方針は以下4つ掲げさせて頂きました。

1. 「ロータリーとは」をしっかりと捉えて
「クラブを元気に、地域に奉仕を」
2. 多くの方々のご理解を賜るため
「クラブの活性化・魅力あるクラブ創り」
3. 公共イメージと認知度の向上
4. 汗をかく行動を起こそう

一年間多くの皆様方にご指導賜り有難うございました。

地域社会奉仕委員会 年間活動報告

委員長	岸 権三郎	(渋川みどり)
委員	栗原 智久	(伊勢崎中央)
委員	廣田 哲也	(前橋)
担当副幹事	本島 克幸	(館林)

5月13日東洋大学板倉キャンパスにて開催された地区研修・協議会に於いて本田 博己パストガバナーをアドバイザーに迎え、3プロジェクト委員会の合同事業としてセミナーを実施した。

また宮内ガバナーのご意向のもとに、地域社会奉仕部門の奉仕活動の一環として、結婚へのきっかけづくりになる為の活動の基礎を立ち上げるべく、3プロジェクト委員会で2570地区ブライダル委員会委員長と面談をした。

結果、3プロジェクト委員会の継続事業としてブライダル委員会設立、予算立てを行う必要があると実感した。とても有意義な事業なので今後を期待したい。

以上、一年間ありがとうございました。

国際奉仕委員会 年間活動報告

委員長	佐藤 信一	(前橋東)
委員	小林 匡美	(高崎南)
委員	田中 敏明	(大泉)
担当副幹事	本島 克幸	(館林)

今年度は、3つの委員会が合同で事業を致しました。

宮内ガバナーより仮称“婚活委員会”設置を要請され、調査を始めました。隣接する地区に状況説明を聞く為に、二度ほど伺いましたが、それ以降は中々前に進むことが難しかったです。

また、地区研修・協議会の分科会では、「職業奉仕」についての新しい解釈を本田PGより説明を伺う為に場を作りました。それなりの効果はあったと自負しております。

青少年交換委員会 年間活動報告

アドバイザー	関根 俊夫 (安中)	委員長	原 敬 (伊勢崎)
副委員長	服部 忠夫 (伊勢崎中央)	副委員長	吉井 宏文 (高崎)
委員	宇田川 利明 (前橋西)	委員	山中 のり子 (前橋東)
委員	桑原 志郎 (桐生)	委員	樋口 哲雄 (高崎北)
委員	荒木 千津子 (館林)	委員	伊藤 貴之 (館林東)
		担当副幹事	後藤 英世 (館林)

宮内ガバナー年度の青少年交換委員会では、下記の事業を実施しました。

7月29日	2018-19年度長期派遣学生壮行会
8月26日	2017-18年度派遣学生帰朝報告会 2018-19年度長期受入学生歓迎会 受入学生・ホストクラブ・ホストファミリー・校舎、学校懇談会
8月28・29・30日	受入学生への日本語教室
10月21日	派遣学生選考会
11月11日	第1回派遣候補生オリエンテーション
11月18日	受入学生日帰り旅行(新潟県上越市)
12月5日	青少年交換会談(5100地区 チャック伊藤委員長 来日)
12月16日	ROTEX・受入学生・派遣候補生交流会
1月14日	青少年交換会談(5960地区 トム田村委員長 来日)
1月20日	第2回派遣候補生オリエンテーション
2月16日～17日	受入学生・派遣候補生合同宿泊オリエンテーション (安中市)
3月21日～24日	受入学生関西方面研修旅行(2560地区(新潟)と合同実施)
4月14日	第1回ホストクラブオリエンテーション 第4回派遣候補生オリエンテーション
5月25日～26日	日本青少年交換研究会金沢会議
6月16日	2018-19年度長期受入学生歓送会 2019-20年度短期・長期派遣学生壮行会 第2回ホストクラブオリエンテーション 派遣学生最終オリエンテーション

1. 受入学生への支援

長期交換で4名の学生をアメリカから受け入れしました。

ホストクラブ、カウンセラー、ホストファミリー、友人・学校関係者等のご支援により、学生は日本で多くの貴重な経験が出来たと思います。地区委員会としても、学生向けの行事を計7回実施しました。初めての試みとして、来日当初に3日間の日本語教室を用意し日本語習得意欲を高めるきっかけ作りができました。また、新潟、関西(京都・大阪)、金沢を訪問し、日本の名所や伝統文化を実体験するとともに、各地でその地区委員会と連携し、その地区に来ている受入学生との交流の機会も提供しました。

2. 派遣候補生の選考とオリエンテーション

次年度の派遣学生を募集し、短期1名、長期2名の学生を選考しました。

派遣候補生に対し、交換留学に向けたオリエンテーションを計6回実施しました。前年度よりも2回削減し、メール等を活用して効率的なオリエンテーションに努めました。

2月には安中市学習の森で1泊2日のオリエンテーションを行いました。ROTEXとインバウンド学生も参加してもらい、アドバイスを受け、交換留学への心構えや意欲向上に役立ったと思います。

5月には日本青少年交換研究会金沢会議に参加させました。他地区の学生と出会って情報交換をしたり、積極性がより必要であること等を学ぶことができたと思います。7月から8月にかけて渡米しますが、オリエンテーションで学んだことを活かして、親善大使として一年間頑張ってきてほしいと思っています。

3. 結び

青少年交換プログラムでは、学生だけではなく、関わる私達も多くの得難い経験を行うことができます。日本にいながら異文化や外国人の考え方に接することができるのと同時に、学生の挑戦する気持ちや成長した姿を見て、多くの感動を得ることができます。

今後とも、青少年交換事業の意義に更なるご理解を賜り、より一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

宮内ガバナーをはじめ地区役員の皆様、ホストクラブ関係者の皆様、ホストファミリーの皆様、委員会・担当地区副幹事・ROTEXの皆様、プログラムと事業をご支援いただいた全ての皆様に感謝を申し上げ、事業報告とさせていただきます。



7月29日 長期派遣学生壮行会



8月26日 受入学生歓迎会・帰朝報告会



10月7日 地区大会



11月18日 新潟地区へ訪問



2月16～17日 一泊オリエンテーション(安中市)



3月21～24日 関西研修旅行



5月25～26日 日本青少年交換研究会金沢会議



6月16日 受入学生歓送会・派遣学生壮行会

GOVERNOR'S MONTHLY LETTER

2018-2019 Vol.13



2018-2019年度 派遣学生

派遣学生氏名	岸花音	辻優香	田谷野胡桃	大嶋章仁
派遣時年齢・性別	16才・女性	17才・女性	15才・女性	16才・男性
学校	共愛学園高等学校	共愛学園高等学校	四ツ葉学園中等教育学校	新島学園高等学校
スポンサークラブ	前橋東RC	伊勢崎RC	伊勢崎中央RC	安中RC
派遣地区	RID 5630(ネブラスカ)	RID 5960(ミネソタ)	RID 5890(テキサス)	RID 5100(オレゴン)
交換種類	長期交換	長期交換	長期交換	長期交換

2018-2019年度 受入学生

	リリー	ルーク	ジェームス	イアン
受入学生NAME	Lily Katherine Black	Luke christopher HAHN	James Alexander David EDEN	Ian Chase KIRSCHNER
来日時年齢・性別	16才・女性	18才・男性	18才・男性	16才・男性
出身地区	RID 5630(ネブラスカ)	RID 5960(ミネソタ)	RID 5890(テキサス)	RID 5100(オレゴン)
ホストクラブ	前橋東RC	伊勢崎RC	伊勢崎中央RC	安中RC
受入学校	共愛学園高等学校	共愛学園高等学校	四ツ葉学園中等教育学校	新島学園高等学校
交換種類	長期交換	長期交換	長期交換	長期交換

2019-2020年度 派遣学生

氏名	田中ひより	山田眞子	栗田瑠羽
年齢・性別	15才・女性	16才・女性	17才・女性
学校	本庄東高等学校	新島学園高等学校	埼玉県立不動岡高等学校
スポンサークラブ	伊勢崎RC	富岡RC	館林RC
派遣地区	RID 5100(オレゴン)	RID 5890(テキサス)	RID 5100(オレゴン)
交換種類	長期交換	長期交換	短期交換

2019-2020年度 受入学生

	フェイス	ウィリアム	オリビア
NAME	Faith Ann ADLER	William Nelson Dyer Harris-Ryden	Olivia Rebecca BARE
年齢・性別	16才・女性	16才・男性	16才・女性
出身地区	RID 5100(オレゴン)	RID 5890(テキサス)	D-5100(オレゴン)
ホストクラブ	伊勢崎RC	富岡RC	館林RC
受入学校	本庄東高等学校	新島学園高等学校	埼玉県立不動岡高等学校
交換種類	長期交換	長期交換	短期交換

インターアクト委員会 年間活動報告

委員長 田嶋 宏樹 (前橋南)
委員 竹部 弘昭 (太田)
委員 大嶋 茂 (藤岡南)
担当副幹事 関井 宏一 (館林)

1. インターアクト・顧問教師・ロータリアン合同会議

日 時： 2018年7月7日(土) 場所：中央情報経理専門学校(新前橋)
参加者： 生徒35名 顧問教師18名 地区役員8名 ロータリアン26名
ローターアクター4名 ホストクラブ23名 計114名
内 容： ①開会行事 ②インターアクトクラブ現況報告 ③グループ討論会

2. インターアクト年次大会

日 時： 2018年7月21日(土) 場所：群馬会館(前橋)
参加者： 生徒184名 顧問教師26名 来賓5名 地区役員12名
ロータリアン48名 ローターアクター2名 ホストクラブ26名 計303名
大会テーマ：『災害に備えて』 ～人を守る、自分を守る～
内 容： ①開会行事
②基調講演 『災害に学ぶ ～日本の震災から学ぶこと～』
自衛隊群馬地方協力本部 援護企画室長 木村 栄子氏
③実地体験 『自衛隊群馬地方協力本部による炊き出し体験』
『地震体験・煙内避難体験』
④分科会 第1分科会 『避難所運営ゲーム (HUGゲーム)』
第2分科会 『防災シミュレーション (クロスロードゲーム)』
第3分科会 『避難所開設訓練』



3. インターアクト国際交流事業 台湾研修(第2560地区との共同事業)

日 時： 2019年3月28日～31日(3泊4日)
訪問先： 台湾新北市清傳高級商業学校
参加者： 群馬生徒18名 顧問教師2名 ロータリアン3名
新潟生徒12名 ロータリアン5名 計40名

目的：日本人としての自覚を高め、日本・台湾両国の歴史・文化を正しく理解するとともに国際的相互理解と友情を深める。

内容：インターアクターが学校訪問、ホームステイを行う交流事業。

4. インターアクト国際交流事業 台湾受入(第2840地区分割事業)

日時：2019年5月10日～11日(2日間)

場所：クラーク記念国際高等学校(中央カレッジグループ本部棟)

参加者：歓迎セレモニー クラーク生徒35名 他校5名 学校、準備関係者15名
 地区役員、委員7名 ロータリアン2名
 ホストクラブ18名 台湾生徒20名 台湾学校関係者3名
 台湾ロータリアン6名
 計111名

さよなら
パーティー

インターアクター18名 クラーク生徒7名
 地区役員、委員6名 受入家族、顧問教師15名
 ロータリアン13名 台湾生徒20名 台湾学校関係者3名
 台湾ロータリアン6名
 計88名

内容：歓迎セレモニー

- ① 開会行事
- ② 歓迎交流事業 学校案内、お茶会、和服着付、餅つき、缶バッチ作成
- ③ ホームステイ受渡し



さよなら
パーティー

- ① 開会行事
- ② ホームステイ感想発表
- ③ アトラクション 日本生徒パフォーマンス、台湾生徒パフォーマンス



ローターアクト委員会 年間活動報告

委員長	岸 慈音	(伊勢崎)
委員	堤 謙治	(高崎北)
委員	清水 雅弘	(前橋)
担当副幹事	関井 宏一	(館林)

田中ガバナー年度に引き続き、宮内ガバナー年度でも委員長を仰せつかりました。2年目ということもあり、1年目で見つけた課題を今年度はアクションへとつなげました。今年度成し遂げた活動としては、今までは地区代表を輩出したホストローターリーが、RA年次大会のホストローターリークラブとして、ロータリアンが手伝いをしたり、登録料を支払ったりしていましたが今年度より、RAのみの力で年次大会を開催し、会場の場所も交通の便の良い高崎で開催することになりました。実際今年度は、沼田RACの金子諒平さんが地区代表を務めました。年次大会開催地は高崎にて挙行し、沼田ローターリークラブには多少の協力は得たかもしれませんが実務面での協力は得ずに行いました。ゆえにローターアクターがローターアクターらしく開催できた年次大会だったと思います。また会員増強に関しては、個々のクラブで差はあるものの徐々にではあるが、増強しつつあります。その反面、今年度は休会クラブが2つ増えてしまいました。今後の課題とし、次年度委員に託したいと思います。

【委員長参加行事】

7・21	インターアクト年次大会参加	(群馬会館)
8・11	第1回会長幹事会	(県庁昭和庁舎)
9・15～16	ローターアクト第1ゾーン会議	(盛岡市)
9・22	第3回ガバナー補佐・委員長合同会議	(前橋商工会議所)
10・6～7	地区大会	(館林市文化会館)
10・13～14	群馬・新潟合同行事	(新潟県弥彦村)
10・20	第2回会長幹事会	(県庁昭和庁舎)
11・3～4	RYLA研修会	(サンコー72)
2・16	年次大会全体説明会	
2・23	第19回RA地区年次大会	(グランビュウ高崎)
3・2	第4回会長幹事会	(県庁昭和庁舎)
4・28～29	全国ローターアクト研究会	(博多国際協議場)
6・15	現・新地区役員合同連絡会議	(館林市文化会館)

RYLA委員会 年間活動報告

委員長	大河原 吉明	(高崎)
委員	古市 和男	(藤岡南)
委員	田中 政一	(太田中央)
担当副幹事	中村 研司	(館林)

RYLAとは、Rotary Youth Leadership Awardsの頭文字をとって名付けられており、日本語では、ロータリー青少年指導者養成プログラムと訳されます。RI2840地区では、次世代を担う青少年たちが、楽しみながら「リーダーシップ」と「新しい友情」、そして「良い人格」を育むことを目的に年1回の研修会を開催しています。

2018-2019年度の研修会を計画するに先立ち、2018年1月、神戸産業振興センターで開催された第10回 全国RYLA研究会に、委員会メンバーは参加しました。研究会によれば、RYLA研修会を成功させるためには、以下の3つのことが重要であると報告しています。① 活動の目的を明確にすること、② 全ての研修生がほぼ未経験の活動を行うこと、③ グループ活動を行うこと。

ホストクラブである高崎ロータリークラブには、ゴルフ場経営に携わるロータリアンがいること、そしてゴルフを愛するロータリアンが多数いることから、今回のRYLA研修会の活動としてゴルフを選択し、研修生がグループでこの活動を楽しめるように計画して、以下のとおり開催しました。

【テーマ】 ゴルフを学び、大自然を感じ、生きる力を考え、そして共生を！

【日付】 2018年11月3日(祝)・4日(日)

【会場】 サンコー72カントリークラブ・同ホテル

【参加人数】 124名

ゴルフ未経験の研修生が、たった二日間で一からゴルフを学び、ラウンドに出るといふ、一見無謀とも思える本研修会は、いくつもの難しい課題がありました。しかし、多くの経験豊かなロータリアンの知恵と力が結集され、この研修会は実現することができました。

研修会の中では、吉井良弘パスト会長による基調講演、田中久夫パストガバナーによるゴルフのルールとマナー講座、ティーチングプロからゴルフの基本を学ぶ集中レッスンとラウンド、ローターアクトによるパター大会、ゴルフを人生に置きかえて考えることができる題材をもとに、いかにこれからの人生を歩んでいくかについてのグループディスカッション、そして発表会、…非常に盛り沢山の内容でした。

参加した研修生からは、この研修会はこれまで参加したことがないほど楽しく、みんなで体を動かし、多くのものを学び得たとの報告を多数いただきました。この報告を通して、本研修会の目的は十分に達成できたと確信しています。研修生がこれからもゴルフを愛し、そこから学ぶ大切な原則を今後の人生に生かし、社会を担うリーダーとしてさらに活躍していただくことを期待しています。

ここに改めて、本研修会にご協力いただきました全ての皆様に心からの感謝の意を表しまして、活動報告とさせていただきます。

米山記念奨学委員会 年間活動報告

アドバイザー	高木 貞一郎 (館林)	委員長	齋藤 勝也 (富岡かぶら)
委員	星野 大輔 (前橋)	委員	黒岩 千春 (前橋西)
委員	大友 一之 (桐生)	委員	久保木 雅彦 (伊勢崎)
委員	高沢 克治 (伊勢崎中央)	委員	石井 嘉一 (高崎)
委員	板橋 一博 (太田)	委員	関井 宏一 (館林)
委員	金井 雄吾 (渋川みどり)	委員	深井 正毅 (藤岡北)
担当副幹事	小池 敏郎 (館林)		

米山記念奨学委員会の活動は4月から新奨学生・世話クラブ・カウンセラーが一新する特異な委員会ですが、以下ロータリー年度に沿った活動報告をさせていただきます。

まず2018年8月、指定校説明会を開催しました。地区内選考された11大学の教授、担当者に米山記念奨学事業の説明と、我々が求めている留学生をご理解いただき、定員枠内の留学生の推薦をお願いしました。

9月に米山カウンセラー研修会を開き、カウンセラー2名による体験発表とカウンセラーの重要性について全員参加型の意見交換により、今後参考になる良い事例が沢山出されました。同日、米山研修セミナーを開き、地区役員、クラブ会長、会長エレクト、幹事、米山委員長にお集まりいただき、よねやま親善大使エンボルド氏の講演、奨学生、カウンセラーの体験談等、意義深いセミナーが開催されました。

10月地区大会に於いて、米山奨学生と米山学友が民族衣装で集まり寄付金活動し160,443円の寄付が集まり、地区として米山本部へ寄付しました。ご寄付いただいた皆様誠にありがとうございました。

12月に奨学生面接官オリエンテーションを行い12名の面接官が大学から推薦されてきた留学生の資料、小論文等を約1ヶ月かけて書類審査しました。

1月に米山新規奨学生選考会が行われ面接官12名が3グループに分かれ1グループ約10名を面接し、事前の書類審査と合わせ32名から16名を選出する大変責任の重い一日です。

2月に米山奨学生終了式・歓送会を開きました。1年または2年お世話して下さったカウンセラー、そして立派に成長してくれた奨学生との別れを惜しむ感動的なシーンに遭遇します。

4月にカウンセラーセミナーが行われ16名の新カウンセラーに対し、米山事業とカウンセラーの務めをご理解いただき、同日、新奨学生と大学のゼミ担当教員も交え3者が初対面の緊張の中、ロータリー精神、米山の意義、それぞれの心構え等、セミナーを進めるうちに緊張も打ち解け、良い雰囲気になっていきました。

5月の地区研修協議会では次年度米山委員長に対し板橋次期地区米山委員長の講師のもと米山記念奨学事業と地区内奨学生の様子等ご理解いただきました。

これら以外にも、米山学友会が主催する忘年会(12月)、総会(6月)がありました。忙しい中にも変化に富んだ楽しい一年でした。一年間お付き合いいただいた地区役員の皆様を始め、高木米山記念奨学会理事、竹内同評議員、委員会メンバー、小池副幹事、ガバナー事務局員の皆様には大変お世話になり感謝申し上げます。

女性フォーラム

開催日：2019年5月18日(土)
場 所：前橋商工会議所会館
報告者：地区副幹事 後藤 英世

今回の女性フォーラムは、開会セレモニー後に分区分別討論会として3会場（Ⅰ.第1分区・第4分区、Ⅱ.第2分区・第5分区、Ⅲ.第3分区・第6分区）に分かれました。各会場とも各分区のガバナー補佐を座長に、【女性ロータリアンとして、どうあるべきか？】【RCに入会して「良かった事！ 悪かった事！」】をテーマとして各会場とも熱心な討議が行われ、会場によっては時間を超過するほど熱く語り合われました。

再集合後には各分区座長から各会場の熱い討論の発表が行われ、田中久夫パストガバナーの講評をもって閉会となりました。

懇親会に先立って行われたアトラクションは、指笛奏者の村山壮人さんとピアノ伴奏の予腰真理さんの演奏を楽しみました。

懇親会は研修リーダーでもある竹内正幸パストガバナーの開会挨拶に始まり、和やかなパーティーとなりました。討論会の余韻が残る中でのパーティーでしたので、各テーブルとも話に花が咲いていたようです。閉会は当地区初の女性ガバナーとなる山田邦子ガバナーノミニーにご挨拶をいただき散会となりました。



阿部豊子女性ネットワーク委員会委員長挨拶



山田邦子ガバナーノミニー懇親会閉会挨拶



女性フォーラム開会セレモニーの様子

第1・第3分区 女性の集い

開催日：2019年6月6日(日)

場 所：高崎モノリス

報告者：地区副幹事 後藤 英世

宮内敦夫ガバナー・山田邦子ガバナーノミニーをはじめとする地区役員の方々、そして地区女性ネットワーク委員会阿部豊子委員長・中澤洋子副委員長にもご参加いただき、第1分区・第3分区合同女子会「女性の集い」が開催されました。

今回は、講師に前橋市出身の伊藤智香様をお迎えし、「はじめてのアロマ・オリジナルアロマづくり」と題したプチ講習会でした。講習の内容は、「①アロマセラピーって？②どんな楽しみ方がある？③おすすめエッセンシャルオイル」という風に進められ、各自でオリジナルアロマもつくりました。

講習後には美味しい料理と飲み物を楽しみながら和気藹々とした時間を過ごし、阿部豊子女性ネットワーク委員会委員長の締めをもって閉会となりました。



プチ講習会の一コマ



当日のプログラム等



全体集合写真

ハンブルグ国際大会報告

担当地区幹事 関井 宏一

報告者 公共イメージ委員会委員長 槻岡 行支

2019年6月ドイツ、ハンブルグにおいてロータリー国際大会が催されました。

私たちの第2840地区では45名の方がこの国際大会に参加、ロータリアンの国際交流と開催国の歴史と文化、風土に触れて来ましたので、日にちを追いながらハンブルグ国際大会の報告をさせていただきます、次のハワイ大会へ繋げて行きたいと思えます。

4月17日、ハンブルグ国際大会参加者の顔合わせと諸注意事項等の伝達を兼ねた参加者の初顔合わせを行いました。この時すでに皆さんの心はハンブルグに飛んでいました。

5月31日、午前9時、第2840地区各地から成田空港に集合、午前11時発のフィンランド航空(AY074便)に搭乗する時間まで三々五々成田空港内で過ごし、機内の人となりました。最初の寄港地ヘルシンキには午後3時50分に着き、ここでドイツハンブルグ行きに乗り換えです。約1時間半ヘルシンキ空港内でトランジット、再び午後5時半ハンブルグに向けてフィンランド航空(AY1425便)の機中の人となり夕刻の6時半目的地ハンブルグ空港に着きました。機内から解放されて空港ターミナルに！国際線ターミナル独特の匂いとその国の雰囲気を感じる事が出来ました。しかし困った事に1名のカバンが回転カウンターから出て来ません、何の手違いがあったのか2日後の到着だと聞かされました。このトラブルがあった事から若干イミグレーションでの入国手続きに時間がかかりましたが、イミグレーションを抜けるとここはドイツ、自分の足で憧れのドイツの地を踏みしめました。

空港から専用バスに乗り、暫くするとホテルアコーテル・ルビン・ハンブルグに到着です。日本から16時間程の長旅でしたが参加者の皆さん元気です。ホテルのロビーで部屋割りが発表され、各自部屋へ荷物を入れたあと私たちはホテル近くのレストランでドイツに来て初めての食事を味わい、夕食後は長旅の疲れもあり今夜は特段の散策もせずに就寝！



6月1日、ホテル内のレストランでおのこの朝食、身支度を済ませてホテル発9時の大会会場行きの専用バスに乗り込みました。大会会場では、入り口で登録キット(首に掛ける名札や資料、観光パンフレットなど)を受け取ると“世界のロータリアンのなかま入り”大会事務局が設けた各種ブースを見学し、各国のロータリアンと身近に交流、持参したクラブバナーの交換や地区バッチの交換で楽しみました。

バナー交換では、お互い固い握手を交わしながら笑顔で写真におさまりチョー片言の英語や身振りで交流です。こんな時こそ国際大会参加の素晴らしさを感じる場面なんです。



午前中の大会に参加し、昼食後は約1時間かけてリューベック観光に出かけました。

ここでは歴史あるホルステン門や歴史ある市庁舎、旧市街などを散策し、ここはドイツだ！という雰囲気をも十分に味わいました。

夕方5時にホテルに戻り、今夜の夕食は個別行動での夕食です。私たちは、先に来ていた大泉クラブの2名が探しておいてくれたホテル近くのレストランを予約しドイツ風土、タップリの夕食を味わいました。



6月2日、9時、日本全国から参加された日本人だけの朝食会が自由参加で行われ、私たちの第2840地区からも多くの方が、この朝食会に参加されました。朝食後は、市内全域が世界遺産というハンブルグ市内を専用バスに乗り、あちこち観光して歩きました。建物、石畳の道路、どれをとっても日本の街並みとは全く違う異国情緒を堪能しました。



昼食は、ハンブルグの港のレストランで第2840地区の参加者全員でドイツの魚料理を美味しく味わいました。ここでは他地区の方々とも一緒になり、交流の輪が広がり話も弾みました。参加者の中には入会間もない方もおり楽しい会話と交流が出来、次のホノルル大会も参加したいと！これは国際大会参加者が味わえる醍醐味のひとつでもあります。

昼食後、大会会場へ、国際大会ならではのスケールの大きな大会雰囲気を満喫させていただきました。とても大きな会場でしたが満席で入り切らず、大きなモニターホールでの参加者も沢山いました。世界各国から参加されているロータリアンの人数は16,000人を上回るほどの状況でした。

開会宣言、歓迎の挨拶など一連の大会セレモニーが終了したのは2時間半後“ロータリーのあべき姿と未来”など全身を使って語り掛けるRI会長の姿は私たちの胸にジンと迫るものがありました。

私は、妻とロータリー国際大会に今回で4回目の参加となりました。

今回はハワイホノルル大会です、国際大会に来るたびに1年間一生懸命健康に類して業務に励み、またこの雰囲気を味わえる様頑張りたいと思うのです。

5月、6月のヨーロッパ、とりわけドイツのこの時期は最高の季節だそうですが、運が悪いと寒かったり、暑かったりすると聞いていましたが、今回は運が悪かったのか！この時期には無い、猛暑に見舞われてしまいました。

今回のハンブルグ国際大会には、当地区から前橋RC、伊勢崎RC、伊勢崎東RC、高崎RC、高崎シンフォニーRC、藤岡南RC、富岡RC、安中RC、沼田RC、館林RC、大泉RCの11クラブ、45名の方に参加いただきました。

特に、藤岡南RCからは入会半年という2名の会員の方が参加してくださいました。

地区ナイト(参加者による夕食と交流・懇親の場)は、市内のDas Dorfで、各クラブから参加いただいた会員と宮内敦夫ガバナー、曾我隆一PG、本田博巳PG、森田高史ガバナーエレクトに参加いただき、宮内ガバナー、曾我PG、本田PGから、ご挨拶をいただき森田ガバナーエレクトの乾杯と挨拶で地区ナイトがスタート、夕食をとりながら参加者全員の親睦を深める事が出来ました。



6月3日、朝食後、9時の専用バスに乗り、ホテルを出発、高速道路を走ってブレーメン観光に出かけました。



バスの車窓から見えるドイツの風景は牧草の緑や丘陵に見える山々の緑がとても手近に見えると同時に、畑の土色の茶、既に黄色の花の時期が過ぎ菜の花やその葉が枯れ黄土色に、ドイツの雄大な風景を車窓から楽しみながら約2時間かけて目的地に到着しました。現地で日本人ガイドと合流してローラント像、市庁舎、ブレーメンの音楽隊などを案内して戴き、市内では自由散策時間をとっていただきショッピングを楽しみました。昼食は、市内のレストランで本場ドイツソーセージと本場のドイツビールで美味しく楽しい昼食会となりました。夕食は自由行動で夕食をとることに、私たち参加者の多くが港近くのレストランを選び、夕暮れの海の風景と港を見ながら美味しい魚料理やステーキなど思い思いのもとドイツ料理を食してドイツ最後の晩餐となりました。

6月4日、朝食、チェックアウト後、10時半専用バスに乗りハンブルグ空港へ向かいました。ハンブルグ発12時55分のフィンランド航空(AY1422便)にてトランジット空港となるヘルシンキ空港へ、ヘルシンキ空港では、成田空港に到着後群馬までの帰宅方法や時間がまちまちななる為、1時間ほどのトランジット時間を利用して宮内敦夫ガバナーから国際大会参加のお礼と成田に着いた後、自宅まで交通安全で帰宅される様にとのお話があり、午後4時45分発のフィンランド航空(AY071便)に乗りドイツを後に成田空港へ、ナイトフライトのため機内食をいただいた後は成田までぐっすり、日本時間の8時5分無事に成田空港へ到着しました。

ヨーロッパという遠隔地での国際大会参加でしたが参加された皆様のご協力で参加者全員が体調を崩すこともなく無事帰国出来ました、担当委員会として皆様に感謝申し上げますが、ご報告とさせていただきます。

森田高史年度・国際大会推進委員会から

来年のロータリー国際大会の舞台は、ハワイのホノルル

2020年6月6日から10日、世界各地からロータリーファミリーがハワイに集まり、「アロハ」と言葉を交わします。ハンブルグ国際大会で忘れられない思い出を過ごした参加者の皆さんは、ドイツハンブルグをあとに、次の開催地ハワイホノルルへと新たな思いを巡らし、ワイキキの美しい浜辺と自然に思いを馳せています。「アロハ、ロータリー」を合言葉に、既に、ハワイのロータリー会員はフル稼働で大会準備を進めています。

ロータリアンにとってロータリーが「生き方」であるように、アロハはハワイ人の生き方そのものです。来年はハワイでロータリー家族(ハワイ語で「ロータリー・オハナ」と喜びを分かちあいたいと思います。みなさんの参加をお待ちします！



米山記念奨学生指定校選定会議・米山学友会総会

開催日：2019年6月8日(土)16：00～19：30

場 所：ホテル メトロポリタン高崎

報告者：担当副幹事 小池 敏郎

梅雨の晴れ間の蒸し暑い土曜日、指定校選考会議が宮内敦夫ガバナー他役員8名により開催されました。

その後、前回欠席の継続米山奨学生1名に対して、ガバナー他3名で面接が行われました。

17時から米山学友会総会が齋藤勝也委員長の開会挨拶、イーカリーカレン会長の進行で始まり「高崎祭り清掃ボランティア活動」等、議事が原案通り可決されました。

懇親会では、周青霞副会長の進行で、奨学生と学友会全員が自己紹介と近況報告を和やかな中行いました。

なお、委員長からは本日の新規米山奨学生の出席が悪いと苦言を呈され、今後の行事には日時が事前に解かっていることですのでなるべく参加されますようにとの事でした。



面接



イーカリーカレン会長



齋藤 委員長



全体写真

第5回ガバナー諮問委員会

開催日：2019年6月15日(土) 16時～17時45分

場 所：館林市文化会館

報告者：地区幹事 小暮 雅丈

国際ロータリー第2840地区のPastorガバナー11名(諮問委員)、宮内ガバナー、森田ガバナーエレクト、山田ガバナーノミニ、小暮・新井・広瀬地区幹事、齊藤会計長、高橋・上野財務委員の計20名が出席し、第5回ガバナー諮問委員会が開催された。

宮内ガバナーは挨拶の後、議長として会議を進行しました。

【2018-19年度 報告事項】

1. 2018-19年度 地区主要行事報告
2. 地区会員数報告(2018-19年度 月別推移) 5月1日現在 2,138名
3. 2018-2019年度 R財団寄付及び地区補助金実績報告
4. 2018-2018年度 米山記念奨学会寄付実績報告
5. 2018-2019年度 地区会計収支報告(仮決算 3月末)
6. その他
 - 1) 今年度当初からガバナーがクラブに依頼していた「クラブの長期戦略計画(ビジョン)」の作成依頼を約70%のクラブが作成した旨の報告があった。報告書は森田年度に引き渡したい。
 - 2) 社会奉仕・国際奉仕・職業奉仕活動において、今年度の各クラブの活動報告書を提出していただいた。80%のクラブから報告があった。整理して月信で公表したい。

諮問委員から地区会員数に対する心配、R財団寄付・米山記念奨学会寄付に未だ寄付がされていないクラブがあるのでガバナーが電話等でもう1度お願いした方が良いとのアドバイスあった。

【2019-2020年度 報告事項】

1. 2019-2020年度 地区目標一部変更の件
月信全会員印刷配布のお願いを撤回する。
2. 組織図の一部変更の件
2名の委員会委員の変更があった。
3. 公式訪問の日程変更の件
2クラブに変更があった。

【諮問事項】

1. 2019-2020年度新クラブ結成について
諮問委員から活発なご意見を頂いた。
2. 2019-2020年度地区ロータリー奨学金制度について
諮問委員から活発なご意見を頂いた。
3. 2019-2020年度 地区大会について
4. 2019-2020年度地区ゴルフ記念大会について

現・新地区役員合同連絡会議

開催日：2019年6月15日(土)
場 所：館林市文化会館
報告者：地区副幹事 中村 研司

朝から雨が降る悪天候の中、宮内敦夫ガバナー一年度から森田高史ガバナー一年度への引き継ぎの為、現新の地区役員が顔を揃えて合同連絡会議が開催されました。

司会の山本樹副幹事の開会后、宮内敦夫ガバナーの一年を通しての感想を踏まえた挨拶に始まり、高木貞一郎パストガバナーから労いのご挨拶をいただきました。そして、まもなく当年度となる森田高史ガバナーエレクトからは来年度への思いを込めた挨拶がありました。

地区幹事報告では、激務の一年を終え淡々と報告をする小暮雅丈地区幹事から宮内敦夫年度の報告がなされ、その後、予定者として既に行われた森田高史ガバナーエレクトの招集による地区行事の報告と今後の予定を新井良和地区幹事が行いました。

会議終了後、田中久夫直前ガバナーのウィットにとんだ乾杯にて早速懇談の場に移り、一年を終えホッとした顔と、これからの一年に期待を膨らませた顔が入り混じる懇談でした。締めは清章司パストガバナーに重々しく締めの言葉のご発声をいただき、楽しい会も終わりとなりました。

次 第

司会 地区副幹事 山本 樹

開会 挨拶	地区副幹事 ガバナー パストガバナー ガバナーノミニー	山本 樹 宮内 敦夫 高木 貞一郎
地区幹事報告	地区幹事 地区幹事 直前ガバナー	森田 高史 小暮 雅丈 新井 良和 田中 久夫
乾杯 懇談 締め 閉会	パストガバナー 地区副幹事	清 章司 山本 樹



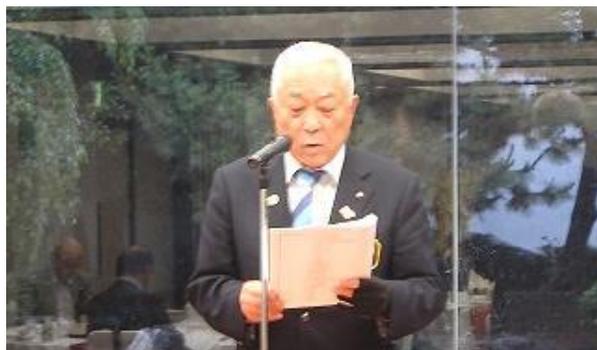
挨拶 宮内 敦夫ガバナー



挨拶 高木 貞一郎パストガバナー



挨拶 森田 高史ガバナーエレクト



地区幹事報告 小暮 雅丈地区幹事



地区幹事報告 新井 良和地区幹事



乾杯 田中 久夫直前ガバナー



乾杯



懇談



締め 清 章司バストガバナー



締め

青少年交換長期受入学生歓送会並びに派遣学生壮行会

開催日：2019年6月16日(日) 11:30～13:30

場 所：前橋問屋センター会館「春夏の間」

報告者：地区副幹事 渋澤 勉

司会：青少年交換委員 樋口 哲雄

前橋問屋センター会館に於いて「長期受入学生歓送会 並びに 派遣学生壮行会」が開催されました。

宮内ガバナー挨拶から始まり、歓送会の部では長期受入学生への認定書・記念品授与、そして4名の長期受入学生スピーチがあり、ホストクラブ・カウンセラー・ホストファミリーへの感謝状贈呈と続き、最後にROTEX会長と青少年交換副委員長よりメッセージが送られました。

壮行会の部では、スポンサークラブ紹介、3名の派遣学生よりスピーチがあり、森田ガバナーエレクトより派遣学生へ地区バッチ・名刺等の授与、青少年交換プログラム参加者へのメッセージがありました。

その後記念写真撮影と次年度委員長挨拶があり、滞りなく無事に終了しました。

次第

※御食事(11:30～)

- | | |
|------------------|-----------------|
| 1. 開会(11:55) | 青少年交換副委員長 吉井 宏文 |
| 2. ガバナー挨拶(11:57) | ガバナー 宮内 敦夫 |
| 3. 委員長挨拶(12:02) | 青少年交換委員長 原 敬 |

4. 地区役員紹介(12:05)

【長期受入学生歓送会の部】(12:07～)

- | | |
|--|------------|
| 5. 2018-2019年度 長期受入学生への認定書・記念品授与 | ガバナー 宮内 敦夫 |
| 6. 2018-2019年度 長期受入学生スピーチ 4名(12:10～1人7分) | |

進行：荒木 千津子 委員

<ホストRC>

Lily Katherine Black(リリー：ネブラスカ州)

前橋東RC

Luke christopher HAHN(ルーク：ミネソタ州)

伊勢崎RC

James Alexander David EDEN(ジェイムス：テキサス州)

伊勢崎中央RC

Ian Chase KIRSCHNER(イアン：オレゴン州)

安中RC

- | | |
|-----------------------------------|------------|
| 7. ホストクラブ・カウンセラー・ホストファミリーへの感謝状贈呈 | ガバナー 宮内 敦夫 |
| (12:38)※ クラブごとに、全員一斉に演台前にご登壇いただき、 | |

会長・カウンセラー・ホストファミリーの順で感謝状を贈呈

- | | |
|-------------------------|--------------|
| 8. ROTEXからのメッセージ(12:46) | ROTEX会長 轟 友理 |
|-------------------------|--------------|

- | | |
|----------------------------------|--|
| 9. プログラムを修了する交換学生へ贈るメッセージ(12:49) | |
|----------------------------------|--|

青少年交換副委員長 服部 忠夫

【派遣学生壮行会の部】(12:55～)

- | | |
|----------------|--|
| 10. スポンサークラブ紹介 | |
|----------------|--|



宮内ガバナー挨拶



原青少年交換委員長挨拶



山田ガバナーノミニー挨拶



森田ガバナーエレクト挨拶



集合写真

ガバナー事務所よりお願い

ガバナー月信に関して

- 原稿の締め切りは、毎月 15 日です。ワードまたはエクセル書式で作成の上、メール添付しガバナー事務所 miyauchi@rid2840.jp まで送信してください。なお、写真等の画像がある場合は、デジタルデータでお送りください。
- 新会員情報並びに訃報の締め切りは、毎月 15 日です。(15日以降のご連絡分につきましては、次月号の掲載となります。)新会員につきましては氏名、入会日、職業分類、勤務先、役職、推薦者氏名を記入の上、写真を添えて、ガバナー事務所ホームページの専用欄かメールにてお送りください。なお、訃報につきましてはクラブ会長様に 250 字以内で追悼文を作成いただき、ご連絡をお願い致します
- この月信のPDFデータを印刷してクラブの第一例会で会員の皆様に回覧いただきたく存じます。よろしくお願ひいたします。